

(様式第 10)

27 新大病医 175 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 (管理者) 鈴木 榮一 (印)

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人 新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話(025) 223 - 6161
-------------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1循環器内科 2内分泌・代謝内科 3血液内科 4腎臓内科 5呼吸器・感染症内科 6心療内科 7消化器内科 8肝臓・胆のう・膵臓内科 9腫瘍内科 10神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1消化器外科 2乳腺・内分泌外科 3呼吸器外科 4心臓血管外科 5形成・美容外科 6小児外科 7耳鼻いんこう・頭頸部外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	8産科	9婦人科	⑩眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科 2矯正歯科 3小児歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64床	床	床	床	761床	825床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	500人	80人	520.4人	看 護 補 助 者	22人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	185人	60人	191.1人	理 学 療 法 士	12人	臨 床 検 査 技 師	72人
薬 剤 師	51人	0人	51人	作 業 療 法 士	3人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	32人	0人	32人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	801人	15人	810.7人	臨 床 工 学 士	13人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	9人
准 看 護 師	1人	1人	1.6人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	8人
歯 科 衛 生 士	21人	5人	24.8人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	161人
管 理 栄 養 士	7人	0人	7人	診 療 放 射 線 技 師	38人	そ の 他 の 職 員	55人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	41人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	26人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	13人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	19人
小 児 科 専 門 医	22人	脳 神 経 外 科 専 門 医	15人
皮 膚 科 専 門 医	2人	整 形 外 科 専 門 医	15人
泌 尿 器 科 専 門 医	11人	麻 酔 科 専 門 医	15人
産 婦 人 科 専 門 医	22人	救 急 科 専 門 医	7人
		合 計	226人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	701.8人	28.0人	729.8人
1日当たり平均外来患者数	1648.9人	608.3人	2257.2人
1日当たり平均調剤数	2,723 剤		
必要医師数	171人		
必要歯科医師数	35人		
必要薬剤師数	35人		
必要(准)看護師数	440人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	199 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	6床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 48 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	3床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	403 m ²	鉄筋コンクリート	臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、顕微鏡、試薬庫			
細菌検査室	161 m ²	鉄筋コンクリート	同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫			
病理検査室	269 m ²	鉄筋コンクリート	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR 装置			
病理解剖室	221 m ²	鉄筋コンクリート	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	711 m ²	鉄筋コンクリート	パソコン等			
講義室	514 m ²	鉄筋コンクリート	室数	9 室	収容定員	303 人
図書室	101 m ²	鉄筋コンクリート	室数	3 室	蔵書数	3,800 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日	
紹介率	74.1%	逆紹介率	54.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数	14,908人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,303人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,909人	
	D: 初診の患者の数	22,670人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	206人	・膿疱性乾癬	33人
・多発性硬化症	224人	・広範脊柱管狭窄症	133人
・重症筋無力症	323人	・原発性胆汁性肝硬変	128人
・全身性エリテマトーデス	783人	・重症急性膵炎	13人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	169人
・再生不良性貧血	70人	・混合性結合組織病	96人
・サルコイドーシス	419人	・原発性免疫不全症候群	15人
・筋萎縮性側索硬化症	63人	・特発性間質性肺炎	19人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	540人	・網膜色素変性症	46人
・特発性血小板減少性紫斑病	125人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	100人	・肺動脈性肺高血圧症	64人
・潰瘍性大腸炎	640人	・神経線維腫症	86人
・大動脈炎症候群	94人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	10人
・天疱瘡	93人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	15人
・脊髄小脳変性症	173人	・ライソゾーム病	21人
・クローン病	241人	・副腎白質ジストロフィー	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	14人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋萎縮症	8人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	218人	・球脊髄性筋萎縮症	14人
・アミロイドーシス	14人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	36人
・後縦靭帯骨化症	154人	・肥大型心筋症	30人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	156人	・ミトコンドリア病	19人
・ウェゲナー肉芽腫症	62人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	17人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	154人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	43人	・黄色靭帯骨化症	10人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	306人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院調整加算
・歯科外来診療環境体制加算	・新生児特定集中治療室退院調整加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・救命救急入院料
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重傷者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・植込型心電図検査
・高度難聴指導管理料	・時間内歩行試験
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ニコチン依存症管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・地域連携診療計画管理料	・内服・点滴誘発試験
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・認知症専門診断管理料	・歯科画像診断管理加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料2	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・外来化学療法加算1
・持続血糖測定器加算	・無菌製剤処理料
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈形成術
・集団コミュニケーション療法料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・透析液水質確保加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・CAD/CAM冠	・大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
・歯科技工加算	・補助人工心臓
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的動脈遮断術
・組織拡張期による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・ダメージコントロール手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・網膜再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・同種死体腎移植術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・生体腎移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)	・膀胱水圧拡張術
	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術, 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	
・輸血管理料 I	
・貯血式自己血輸血管理体制加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・内視鏡手術用施設機器加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・定位放射線治療	
・病理診断管理加算	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長寿・老化モデルマウスを用いた慢性炎症機構の解明	南野徹	循環器内科	13,000,000	補 委 独立行政法人 科学 技術振興機構
非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性 塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全 性に関する登録観察研究	南野徹	循環器内科	200,000	補 委 メビックス株式会社
歯周病治療における歯周病原菌簡易検出キットの 有用性に関する多施設共同臨床研究	吉江弘正	歯周病科	1,150,000	補 委 デンカ生研株式会社
Possible role of factor Xa in age-associated diseases	南野徹	循環器内科	21,500,400	補 委 バイエル薬品株式会 社
慢性心不全におけるβ遮断薬による治療法確立の ための他多施設臨床試験	南野徹	循環器内科	10,000	補 委 メビックス株式会社
HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象と したペバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有 用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	小山論	乳腺・内分泌外科	50,000	補 委 一般社団法人JBC RG
胃がん検診受診率向上のための胃用誘導型カプ セル内視鏡システムの開発等	赤澤宏平	医療情報部	1,425,600	補 委 公立大学法人福島 県立医科大学
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業にお ける調査研究事業	田邊嘉也	感染管理部	19,040,000	補 委 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研 究事業	田邊嘉也	感染管理部	230,000	補 委 新潟県
水俣病、緑内障、中枢神経疾患眼における視力と 中心視野障害および黄斑部網膜内層菲薄化の関 連	福地健郎	眼科	2,000,000	補 委 新潟県
メチル水銀に対する治療標的分子としての血管内 皮成長因子(VEGF)の検討(Ⅲ)	下畑享良	神経内科	2,000,000	補 委 新潟県
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向 けた調査研究	高木律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 委 新潟県
高齢者のめまいと加齢に伴う平衡障害に関する研 究	山本裕	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	2,000,000	補 委 新潟県
地域保健における歯科疾患の予防	宮崎秀夫	予防歯科	827,000	補 委 弥彦村
Stroke Biomaker:Correlation with Treatment Outcomes	下畑享良	神経内科	692,300	補 委 Shimojani LLC
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の 実用化に関する研究(EGFR(上皮成長因子受容 体)遺伝子変異陽性肺がんの遺伝子学的発がん 機構の解明)	西條康夫	腫瘍内科	1,000,000	補 委 国立大学法人東北 大学
AIAシリーズにおけるPIVKA-II 試薬の基礎性能評 価	松戸隆之	検査部	345,000	補 委 エーディア株式会社
大学病院と関連施設における小児の病原体迅速 診断と抗菌薬管理プログラムの実践	齋藤昭彦	小児科	750,000	補 委 独立行政法人国立 成育医療研究セン ター
ラット脳梗塞モデルに対する、エダラボン、エラス ターゼ阻害剤及びMMP阻害剤の効果の検証実験 一式	下畑享良	神経内科	2,380,320	補 委 独立行政法人医薬 基盤研究所
ロコモ患者におけるフレイルの進行に関する研究	遠藤直人	整形外科	1,500,000	補 委 独立行政法人国立 長寿医療研究セン ター
HPVワクチンの有効性と安全性の評価のための大 規模疫学研究	榎本隆之	産科婦人科	119,990,000	補 委 厚生労働省

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経疾患の研究資源蓄積・活用のためのブレインバンク ネットワーク構築に関する研究	西澤正豊	神経内科	1,200,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本隆之	産科婦人科	972,000	補 委 新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制の構築に関する研究	西澤正豊	神経内科	5,913,000	補 委 新潟県
多施設共同医師主導型臨床研究：日常診療下における心臓CTの被曝線量に関する調査研究	吉村宣彦	放射線部	1,552,500	補 委 バイエル薬品株式会社
2014年臨床分離細菌及び真菌の収集	松戸隆之	検査部	1,000,000	補 委 塩野義製薬株式会社
塞栓症予防を目指す頸部超音波栓子検出装置による術中栓子検出臨床研究	榛沢和彦	心臓血管外科	1,742,000	補 委 橋本電子工業株式会社
「汎用性の高い動物実験用歯科インプラントシステムの研究開発」における開発品の評価試験	魚島勝美	冠・ブリッジ診療科	1,500,000	補 委 JMR株式会社
骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存的初期治療の指針策定	平野徹	整形外科	700,000	補 委 国立大学法人東京医科歯科大学
慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究	齋藤和英	泌尿器科	300,000	補 委 国立大学法人筑波大学
心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究－Ⅱ	南野徹	循環器内科	1,000,000	補 委 国立大学法人大阪大学
「次世代シーケンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明と治療法開発に関する研究に係る「⑥パーキンソン病関連疾患の研究リソース構築」	西澤正豊	神経内科	800,000	補 委 国立大学法人神戸大学
多系統委縮症の治療法開発研究	西澤正豊	神経内科	700,000	補 委 国立大学法人東京大学
肺胞蛋白症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究：重症難治化要因とその克服	中田光	生命科学医療センター	4,800,000	補 委 独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター
iPS細胞を含む多様な細胞種を用いた気管再生技術開発	西條康夫	腫瘍内科	364,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
安全で簡便な誤嚥性肺炎予防のための自動嚥下機能評価訓練システムの開発	櫻井直樹	義歯診療科	195,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
先天性難聴に対する保存臍帯を用いた胎内先天性風疹ウイルス感染検索方法の新規開発	斎藤昭彦	小児科	500,000	補 委 独立行政法人国立成育医療研究センター
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	西澤正豊	神経内科	700,000	補 委 国立大学法人九州大学
医療に係る統計情報プラットフォームの共同研究	赤澤宏平	医療情報部	4,510,000	補 委 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発	井上誠	口腔リハビリテーション科	1,360,000	補 委 にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会
脳梗塞モデルラットにおけるPDGF-C抗体の薬効評価	下畑享良	神経内科	210,000	補 委 アステラス製薬株式会社
植物性乳酸菌を利用した経口補給食品の開発	斎藤昭彦	小児科	550,000	補 委 亀田製菓株式会社

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ダニエキスによるアレルゲン特異的免疫療法の作用機序の検討	鈴木栄一	医科総合診療部	3,500,000	補 委 鳥居薬品株式会社
炭酸飲料の嚥下促進効果の検証	井上誠	口腔リハビリテーション科	2,000,000	補 委 アサヒ飲料株式会社
日本人大腿骨におけるBiCONTACTステムの形状適合性に関する研究	遠藤直人	整形外科	990,000	補 委 ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
DDX3X阻害剤のマウスにおけるin vivoでの効果の検討	各務博	呼吸器・感染症内科	3,300,000	補 委 大塚製薬株式会社
新規洗口液(うがい液)に関する研究	興地隆史	歯の診療科	550,000	補 委 日本歯科薬品株式会社
BiCONTACT E ステムの安全性の確認に関する評価	遠藤直人	整形外科	110,000	補 委 ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
脳保護作用を有するプログラニューリンによる新規脳梗塞治療	下畑享良	神経内科	8,316,000	補 委 第一三共株式会社
赤芽球及び骨膜細胞の増殖培地の新規開発及び評価	中田光	生命科学医療センター	2,750,000	補 委 コージンバイオ株式会社
2型糖尿病メトホルミン投与例に対するイプラグリフロジン併用療法とシタグリプチン併用療法のランダム化比較研究	曾根博仁	内分泌・代謝内科	25,918,737	補 委 アステラス製薬株式会社
小児の肝移植患者におけるワクチン接種の安全性・有効性に関する研究	齋藤 昭彦	小児科学	8,300,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
慢性腎疾患の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発	成田 一衛	内科学第二	12,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄腔遺残、総排泄腔外販、MRKH症候群)におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	窪田 正幸	小児外科学	23,778,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
日本人2型糖尿病患者における生活習慣介入の長期予後効果並びに死亡率とその危険因子に関する前向き研究(JDCS)	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科学(内科学第一)	33,630,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
歯科技工物の多国間流通の現状把握に関する調査研究	宮崎 秀夫	予防歯科	2,200,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
肺胞蛋白症の吸入治療のための新規GM-CSF製剤の非臨床試験	田澤 立之	生命科学医療センター	38,350,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	中田 光	生命科学医療センター	130,400,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
血液型不適合腎移植ではどのようにして免疫学的順応が誘導・成立するのか	高橋公太	泌尿器科学分野	12,220,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
TDP43の自己調節機能に注目したALSの病態機序の解明	西澤正豊	神経内科学分野	9,880,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明	吉江弘正	歯周診断・再建学(2保存)	10,140,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
三叉神経障害性疼痛発生機序の網羅的解析	瀬尾憲司	歯科麻酔学	4,160,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
健康科学と臨床医学を統合した日本人における生活習慣病の予防・治療のエビデンス確立	曾根博仁	血液・内分泌・代謝内科学分野(内科学第一)	4,160,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
p53依存性老化シグナル活性化による生活習慣病発症機序の解明	南野徹	循環器内科学分野 (内科学第一)	6,110,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
次世代シークエンサーを用いたGM-CSF自己抗体産生機序の解明	中田光	生命科学医療センター	3,640,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
摂食・嚥下機能に関わる中枢と末梢の制御機構	井上誠	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	4,810,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
分化歯根膜細胞とのブレンドによる培養骨膜シートの高機能化と新治療法への展開	奥田一博	歯周診断・再建学 (2保存)	4,290,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
重大外傷をアウトカムとした転倒リスクアセスメントの多施設共同研究による有用性検証	鳥谷部真一	医療安全管理部	1,300,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
ミュー管由来漿液性腺癌の分子生物学的特徴の解明と新たな治療標的の同定	榎本隆之	産科婦人科学分野	5,460,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
立体三次元構築法を用いた末梢神経交叉移行術後における可塑的神経再生経路の検討	柴田実	形成外科学分野	5,980,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
乳歯歯髄由来ヒトiPS細胞からの歯形成細胞への分化誘導制御	齊藤一誠	小児歯科学(小児歯)	5,070,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
次世代型スーパー肝線維化改善細胞を用いた肝臓再生療法開発への基盤研究	寺井 崇二	第三内科	5,885,897	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
癌幹細胞化を阻止する画期的分子標的治療薬の開発	各務博	腎・呼吸器・感染症 内科学分野(内科学第二)	7,930,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
ホロゲノム解析によるIgA腎症の病態解析と治療ターゲット探索	成田一衛	腎・呼吸器・感染症 内科学分野(内科学第二)	4,420,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
「心の理論」の脳基盤を介した自閉症の病態解明およびサルルの自閉症モデル動物の作成	染矢俊幸	精神医学分野	15,730,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
μオピオイドによる急性耐性、痛覚過敏の細胞内シグナル機序の解明	河野達郎	麻酔科学分野	11,310,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発	加来賢	生体歯科補綴学 (2補綴)	12,090,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
骨質(コラーゲン)が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る	魚島勝美	生体歯科補綴学 (2補綴)	4,160,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
都市部一般住民の口腔健康と動脈硬化性疾患の関係についての前向きコホート研究	小野高裕	包括歯科補綴学 (1補綴)	2,852,034	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
自律神経系は咀嚼筋のT2値に関与するのか?	西山秀昌	顎顔面放射線学 (放射線)	520,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
Tooth Wear(咬耗)の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査	石崎裕子	歯科総合診療部	910,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発 —歯科臨床からのアプローチ—	田中みか子	義歯診療科	780,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
ピエゾセンサーを用いたX線非使用下嚥下検査の応用	木村慎二	総合リハビリテーションセンター	650,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
歯科臨床における技術教育の科学化	藤井規孝	歯学教育研究開発学 分野	1,170,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会
糖鎖の制御によるクローン病狭窄症治療	鈴木健司	第三内科	1,300,000	補・委 独立行政法人日本 学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ハイドロダイナミック力を用いた肝ミトコンドリアへの遺伝子導入システムの開発	須田剛士	第三内科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
肝移植後の肝癌再発機序におけるNK細胞機能の重要性と免疫監視破綻機序の解明	山際訓	内科学第三	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
早期胃癌における粘液形質に基づいた組織形態形成の解析と画像強調内視鏡診断の展開	小林正明	光学医療診療部	130,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
体外増幅赤芽球移植を用いた血管新生治療の長期予後と治療効果の予測因子の検討	小澤拓也	循環器内科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
難治性不整脈症候群の不整脈基盤に関与する新たな遺伝的背景の解明と個別化治療の確立	渡部裕	循環器内科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
肺癌分子標的治療における新たな効果予測因子、治療ターゲットの探索	吉澤弘久	生命科学医療センター	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍免疫の再構築をコンディショニングとした進行期肺癌に対する新たな免疫療法の開発	渡部聡	生命科学医療センター	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
腎糸球体上皮細胞におけるプロラクチン受容体の腎疾患における役割の解明	金子佳賢	第二内科	2,600,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
シヌクレイノパチーにおける消化管病理のスペクトラム:中枢病変との相関を解析	小澤鉄太郎	魚沼地域医療教育センター(神経内科)	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
マウス気管支喘息モデルを用いた舌下免疫療法のメカニズムの解明	小屋俊之	内科学第二	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
学校心臓病検診における新規致死性不整脈のリスクの検討	鈴木博	小児科	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
共感する脳:2個体同時脳機能計測ー共感の個人差からアスペルガー症候群へ	北村秀明	精神医学	130,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
早期DNA損傷修復機構の評価法に基づく胆管癌における表層拡大進展形成機序の解明	若井俊文	外科学第一	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ナノバブル超音波増強法を用いた肺静脈からの逆行性アプローチによる肺への遺伝子導入	土田正則	外科学第二	520,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト脳組織スライスの検討によるてんかん原性の発現・獲得過程の解明	大石誠	脳神経外科学分野	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
レミフェンタニルの急性耐性と痛覚過敏ー存在の是非と機序の解明ー	石井秀明	麻酔科	390,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
副腎皮質ステロイドの非ゲノム作用を介する鎮痛作用	生駒美穂	腫瘍内科学	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
疼痛制御に関与するSema3Aシグナルパスウェイの解明	紙谷義孝	麻酔科	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌のアンドロゲン受容体に対するアンタゴニストのアゴニスト化の解明	西山勉	泌尿器科学	130,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
多嚢胞性卵巣症候群における若年子宮内膜癌発症に関する遺伝学的研究	加嶋克則	産科婦人科学	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
肝芽腫におけるisoform別CEACAM1発現欠失の機序の解明及び臨床的意義	仲谷健吾	小児外科学	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
多形性腺腫細胞の低酸素応答性細胞外基質改変における転移形質獲得機構	丸山智	病理検査室	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
3次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスペーサーの線量分布への影響の解明	勝良剛詞	歯科放射線科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯髄の組織再生を促進させるための血管新生バイオマーカーに対する分子生物学的研究	金子友厚	歯の診療科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
組織培養法による歯髄再生モデルの確立と歯髄細胞の動態解析	吉羽邦彦	う蝕学(1保存)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
根管拡大形成操作解析装置の開発—シミュレータ使用のための検証—	庭野和明	歯の診療科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
微小加速度計とSDメモリー携帯記録装置による歯科切削時の振動被曝・筋電図解析	小林博	包括歯科補綴学(1補綴)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口腔・咽頭内残留の定量的評価と舌圧との関連	堀一浩	摂食・嚥下リハ(加齢)	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
顎関節モビライゼーションの治療効果とそのメカニズムの解明	荒井良明	顎関節治療部	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜上皮前駆／幹細胞を用いた凍結培養粘膜の移植後動態の解明	小山貴寛	顎顔面口腔外科学(2外科)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
痛みとうつとの相関関係～NPYを基点として～	弦巻立	歯科麻酔学(麻酔科)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
味覚と嗅覚刺激による口腔顔面痛の変調機構の解明と臨床への応用	田中裕	歯科麻酔科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
有限要素法と骨リモデリングシミュレーションによる効果的顎変形症治療システムの開発	渡邊直子	歯科矯正学(矯正)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯根膜細胞と腱細胞の相同性からみた歯周組織再生の可能性	河野承子	小児歯科・障がい者歯科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯周炎罹患歯肉局所におけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現亢進を探る	久保田健彦	歯周病科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
スケーリング後の菌血症に伴う生体応答～IL-6コンポーネントとの関連性の解析～	小松康高	歯周病科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯周炎・肥満・骨粗鬆症関連遺伝子PPARガンマーの閉経後女性における解析	杉田典子	歯周診断・再建学(2保存)	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
高齢者の口腔機能改善が及ぼす運動器機能訓練への増強効果の検証	宮崎秀夫	予防歯科学(予防歯)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
血管安定化タンパクAng1を介した脳梗塞の血管保護療法確立に関する研究	高橋哲哉	神経内科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
高機能シミュレーターによる新しい新生児蘇生教育プログラムの開発	和田雅樹	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
NASHの病態におけるNrf2とミトコンドリア異常の関与メカニズムの解明	川合弘一	内科学第三	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヘプシジンを介した心不全における貧血と鉄欠乏の機序の解明と新たな治療の検証	埴晴雄	内科学第一	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
心不全における臨床的カルシウム過負荷の評価	柏村健	循環器内科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎に伴う難治性急速進行性間質性肺炎における抗CADM-140抗体の役割	高田俊範	内科学第二	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
吸入GM-CSFは肺蛋白症病変をどのように改善するか	田澤立之	生命科学医療センター	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
重合体毒性仮説に基づくポリグルタミン病の病態解明と新規治療薬開発	他田正義	神経内科学分野	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヘパリン親和性を獲得した新規エリスロポエチンの生物学的特性と臨床応用のための検討	森山雅人	腫瘍内科学	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
IgG4関連疾患はMALTリンパ腫の発症原因になり得る	瀧澤淳	内科学第一	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抗インターフェロン γ 自己抗体の臨床的意義-新たな後天性免疫不全の概念として-	長谷川隆志	医科総合診療部	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
NK細胞療法における最適なドナー選定方法とキメラ型人工受容体発現の新手法の開発	今井千速	小児科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
M2型マクロファージを介した慢性腎疾患(CKD)進展機序の解明と制御法の確立	池住洋平	小児科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抗精神病薬誘発性糖代謝異常および体重増加に関する薬理ゲノム研究	福井直樹	精神医学	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
慢性膵炎に対する自家膵島移植を併用した膵切除に関する研究	小林隆	外科学第一	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
先進的三次元工学技術を基盤とした微小解剖ライブラリーを完成させる	高尾哲郎	脳神経外科	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
近赤外分光法を用いた新しい術中モニタリングの開発-神経ネットワークの可視化-	福多真史	脳神経外科学分野	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
脳機能再構築に基づく脳腫瘍新規治療法の開発	藤井幸彦	脳神経外科学分野	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
骨軟部肉腫における腫瘍特異的融合遺伝子を標的とした血中循環微量腫瘍細胞の検出	堀田哲夫	手術部	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
高齢者大腿骨近位部骨折の経年的推移と骨折後転帰に関する研究	遠藤直人	整形外科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
一酸化炭素中毒治療標準化のための新規MRI技術を用いた遅発性脳症発症要因の解明	寺島健史	医療情報部	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯髄創傷治癒・再生のための α -SMA陽性線維芽細胞を軸とした多角的アプローチ	吉羽永子	歯の診療科	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
アパタイト形成能を有する生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化療法への展開	児玉臨麟	う蝕学(1保存)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
機能性食品による骨強化作用の生物学的検討~骨粗鬆症患者へのインプラント治療~	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
在宅診療にも応用できる、難症例に対する簡便な全部床義歯製作システムの確立	金田恒	義歯診療科	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ICT(情報通信技術)とピエゾセンサーを融合した在宅嚥下機能評価訓練システム開発	櫻井直樹	包括歯科補綴学(1補綴)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
酸化ジルコニウムを用いたメタルフリークラスプデンチャーの開発	岡田直人	生体歯科補綴学(2補綴)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
凍結保存歯の歯根膜細胞は高い増殖能を維持できるか	小野由起子	組織再建口腔外科学(1外科)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
PCR発症リスク因子の解明とPTH(1-34)間歇投与による予防法の開発	小林正治	組織再建口腔外科学(1外科)	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
臨床癌組織の遺伝子発現解析により口腔扁平上皮癌の遠隔転移の分子機構を解明する	永田昌毅	顎顔面口腔外科学(2外科)	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
舌神経断裂後の味覚受容機構の回復過程の解析	吉川博之	歯科麻酔科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
障害に応じた歯科対応法の確立～心身障害児の心理的ストレス定量化を通して～	佐野富子	小児歯科	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
超音波診断検査を用いた顎変形症の機能的診断法の開発	福井忠雄	歯科矯正学(矯正)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
乳幼児の捕食動作に関する研究	早崎治明	小児歯科学(小児歯)	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口蓋裂患者に対する上顎前方移動術後の鼻咽腔閉鎖機能予後総合評価システムの確立	朝日藤寿一	矯正歯科	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
笑気吸入鎮静法とデクスメトミジン添加リドカインを併用した行動調整法	齊藤陽子	小児歯科学(小児歯)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
IL-10応答を中心とした歯周病原細菌感染に対する慢性炎症成立機構の基盤解明	中島貴子	歯学教育研究開発学分野	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
齲蝕関連細菌群をターゲットとした歯垢バイオフィルムの多角的解析と齲蝕予防への展開	松山順子	小児歯科学(小児歯)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ドライシンドロームの有症率および原因探索に関する研究	伊藤加代子	口腔リハビリテーション科	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化—eポートフォリオの開発—	小田陽平	組織再建口腔外科学(1外科)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
骨格筋由来生理活性因子(マイオカイン)BDNFによる肥満・糖尿病の予防・治療	羽入修	内分泌・代謝内科・血液内科	2,990,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞に対する新規治療標的分子としてのプログラニューリンの検討	下畑享良	神経内科学分野	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の発生におけるDNA損傷修復応答の意義	味噌洋一	臨床病理学分野(病理学第一)	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
PARK7の非アルコール性脂肪肝炎における役割と診断的応用	高村昌昭	内科学第三	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新規骨粗鬆症治療薬デノスマブによる冠動脈石灰化抑制効果の検討	廣野暁	循環器内科学分野(内科学第一)	3,510,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
オンラインによる元素分析受付システムの確立	森山寛史	第二内科	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
肺MAC症の重症化・致死化と鉄代謝異常との関連～新規治療法の開発に向けて	茂呂寛	検査部	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
顆粒球系細胞をターゲットとした中枢神経系脱髄疾患の疾患制御と生物学的意義の解明	河内泉	神経内科学分野	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新生児ヒトパレコウイルス3型感染症発症のメカニズム—移行抗体の役割—	齋藤昭彦	小児科学分野	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
児童における抗精神病薬誘発性糖代謝異常・体重増加とインクレチンの関連について	小野信	精神科	2,860,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
単純型統合失調症をプロトタイプとした青年期認知機能障害の病態解明と治療法の確立	鈴木雄太郎	精神科	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
児童・思春期ADHD治療薬誘発性QT延長症候群発症予測マーカーの探索	須貝拓朗	精神医学分野	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
消化管間質腫瘍の発生部位と予後に関わる遺伝子の解析	石川卓	光学医療診療部(消外)	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
食道癌術前補助化学療法抵抗性の分子機構における酸化ストレス系シグナル異常の解明	小杉伸一	魚沼地域医療教育センター(消化器外科学分野)	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
p62-Keap1-Nrf2 pathwayによる大腸癌抗癌剤耐性機序の解明	亀山仁史	消化器外科学分野(外科学第一)	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
蛍光免疫組織化学を用いた大腸pSM癌における簇出の生物学的評価及びその意義	野上仁	外科学第一	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌における光線力学診断を応用した化学療法効果予測法の開発	皆川昌広	外科学第一	2,990,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌におけるBudding cancer cellの新たな生物学的評価法の確立	滝沢一泰	高次救命災害治療センター	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
A role of the endocannabinoid system in a favorable recovery profile after propofol anesthesia	PETRENKO ANDREY	麻酔科学分野	3,510,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
脊髄前角運動ニューロンにおける麻酔薬の作用と神経保護効果の検討	本田博之	麻酔科学(集中治療部)	2,730,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
泌尿器科癌におけるZFHX3/ATBF1の機能解析と分子標的治療への応用	富田 善彦	泌尿器科学	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
高速画像解析法による末梢神経損傷後の脊髄後角可塑性変化の解析	馬場洋	麻酔科学分野	2,600,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合移植腎障害におけるADAMTS13、vWFと免疫学的順応	齋藤和英	泌尿器科学分野	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
加齢性難聴発症の病態解明—脳血管障害との関係についての研究	森田由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
島状側頭筋移行術を用いた顔面神経麻酔再建術における神経可塑性と神経再支配機序	松田健	形成外科学分野	2,600,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
整数心拍数・呼吸数変動の非線形解析によるICU入室患者の重症度と転帰の判定	遠藤裕	救急医学分野	3,120,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
μ CTによるエナメル質・象牙質MD定量解析シリーズとなる新規ファントムの開発	坂井幸子(林幸子)	小児歯科学(小児歯)	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
バイオフィルム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発	竹中彰治	う蝕学(1保存)	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
多機能性エビジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ	秋葉陽介	冠・ブリッジ診療科	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜細胞が再生骨にもたらす骨代謝促進の3D-CT精密画像解析による質的検出	星名秀行	インプラント治療部	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜上皮前駆幹細胞による粘膜再生機構の解明—血管新生の意義—	芳澤享子	口腔再建外科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞の移植後動態と骨再生能の解析—骨髄と脂肪組織の比較—	小島拓	組織再建口腔外科学(1外科)	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

小計22件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発	齋藤功	歯科矯正学(矯正)	3,250,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用	越知佳奈子	歯科矯正学(矯正)	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を生達過程から解明する	中村由紀	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯髄処置にて廃棄される神経幹細胞からの神経再生の試み	澤味規	小児歯科学(小児歯)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
小児抗癌剤障害歯の長期保存の可能性—歯根障害モデルを用いた予後の解析—	三富智恵	小児歯科学(小児歯)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
意図的歯根切除と抗菌性薬剤が歯の再植後の歯髄・歯根膜治癒過程に及ぼす影響について	大島邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
シトルリン化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症メカニズムの解明	小林哲夫	歯科総合診療部	2,600,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
小胞体ストレスを介した歯周組織破壊機構の分子基盤解明	本田朋之	歯周病科	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
スクレーリング後の菌血症が生体応答に及ぼす影響と光エネルギー応用の効果	両角俊哉	歯周病科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
70～80歳における口腔健康状態の維持は、その後の「健康長寿」に寄与するか？	廣富敏伸	予防歯科学(予防歯)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ソプリヌス菌の遺伝子検査法の開発	金子昇	予防歯科学(予防歯)	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
自発性異常味覚の評価にマグネシウムは応用できるか？	船山さおり	口腔リハビリテーション科	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
急性期病院における患者特性を考慮した退院支援のあり方	鈴木一郎	地域保健医療推進部	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
可逆的光抑制法を用いたマウス大脳聴覚野機能と領野間相互関係の研究	高橋姿	耳鼻咽喉科学	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
家兔気管欠損ステント治療モデルにおける周囲肉芽と細胞増殖／mTORシグナル解析	窪田正幸	小児外科学	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯周炎病因論に基づくサイトカイン標的療法の確立	吉江弘正	歯周診断・再建学(2保存)	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
肝クッパー細胞、新生血管リアルタイム観察モデルの開発	寺井 崇二	第三内科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
生活習慣病に対する老化マーカーの有用性に関する研究	南野徹	循環器内科学分野	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害の脳内ネットワークによる類型化および療育のオーダーメイド化	染矢俊幸	精神医学	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
タニケットペインの機序解明と予防法の検討	河野達郎	麻酔科学	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト嚥下反射誘発および高次機能評価システムの構築	井上誠	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
健康食品と既存の医薬品併用による骨代謝改善の可能性	魚島勝美	生体歯科補綴学(2補綴)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
末梢神経損傷による骨破壊現象の物質基盤の解明	瀬尾憲司	歯科麻酔学(麻酔科)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
小細胞肺癌の循環腫瘍細胞を根絶する新規抗腫瘍免疫療法の開発	各務博	腎・呼吸器・感染症内科学分野(内科学第二)	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
腎臓病患者におけるiPS細胞由来腎糸球体上皮細胞の機能解析と病態解明	成田一衛	腎・呼吸器・感染症内科学分野(内科学第二)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)における脳転移関連分子の同定	関根正幸	産科婦人科学分野	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
パーキンソン病患者の嚥下障害定量評価システムの構築	小野高裕	包括歯科補綴学(1補綴)	724,624	補・委 独立行政法人日本学術振興会
xeno-freeヒトiPS細胞樹立のための高機能歯髄由来feeder細胞の開発	齊藤一誠	小児歯科学(小児歯)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
線量不定性を考慮した強度変調放射線治療計画法および線量検証システムの開発	宇都宮悟	放射線科学教室	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
マウス大脳聴覚野における両耳聴機能の解明	高橋邦行	耳鼻咽喉科学	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
咬合力によるインプラント周囲の骨吸収に関する分子同定	長澤麻沙子	生体歯科補綴学(2補綴)	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
FGF2徐放を用いた低侵襲で確実性のある歯槽骨再生・生物学的裏付けを伴う組織工学	小玉直樹	顎顔面口腔外科	520,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
唾液中ストレスマーカーは口腔乾燥の指標となりえるか	濃野要	予防歯科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
STAMマウスを用いた腸粘膜バリアー機能改善によるNASH進展阻止の試み	本田穰	光学医療診療部	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
胸膜中皮腫における新規バイオマーカーの検討と早期診断への臨床応用	岡島正明	内科学第二	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新規慢性期脳梗塞治療戦略としてのグリア細胞による組織リモデリングの検討	金澤雅人	神経内科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
NK細胞に3種のシグナルを同時に伝達する第3世代キメラ型人工受容体の新規開発	吉田咲子	小児科学分野	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抗精神病薬誘発性QT延長症候群発症予測マーカーの探索	渡邊純蔵	精神医学	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
QX-314の脊髄後角ニューロンに対する作用と毒性に関する解析	古谷健太	麻酔科学分野	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
静脈投与したリドカインの脊髄における鎮痛機序の解明	倉部美起	麻酔科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症感受性遺伝子の探索	安達聡介	NICU(産科婦人科学)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
難聴モデルマウスを用いた聴覚野周波数マップ可塑性の研究	窪田和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージングによる両耳分離補聴の検討	大島伸介	耳鼻咽喉科学	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
「周波数選択性」とAuditory Neuropathyにおける語音聴取能低下	泉修司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	520,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔上皮内癌における細胞競合現象の認識とその病理学的意義の解明	阿部達也	病理検査室	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
実験的歯髄炎におけるトランスポーターを介したプロスタグランジンE2輸送機構の解析	大倉直人	歯の診療科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
実験的根尖性歯周炎における血管新生関連因子の局在および遺伝子発現解析	山中裕介	う蝕学(1保存)	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抜歯窩の骨の治癒に影響する骨代謝因子の解明ーインプラント植立時期の指標策定へー	三上絵美	義歯診療科	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
超音波診断装置を用いた咀嚼筋の硬さの定量的評価方法の確立	高嶋真樹子	顎関節治療部	520,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
歯科用コーンビームCTにおける指標となる骨密度測定用ファントムの開発	青柳裕仁	生体歯科補綴学(2補綴)	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜上皮内癌における粘膜固有層の癌間質としての機能解明	船山昭典	口腔再建外科	910,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト神経障害性疼痛に神経炎症はあるのか？-in vivo神経イメージングでの検討	倉田行伸	歯科麻酔学(麻酔科)	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
有限要素法を用いた顎矯正手術後の顎骨内応力解析による術後変化予測とその臨床応用	丹原惇	歯科矯正学(矯正)	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
アクアポリン1を用いた歯の移動におけるラット臼歯歯根膜動態の比較検討	吉居朋子	矯正歯科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
顎矯正手術シミュレーションへの応用を視野とした術前後軟組織変化様相の解明	焼田裕里	矯正歯科	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
摂食過程における生体機能と食塊物性の変化を追う	谷口裕重	摂食・嚥下機能回復部	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抗菌薬による腎障害の分子機序の解明と予防法の検討	青木信将	集中治療部	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ゲル試料の摂取方法が嚥下機能に与える影響- Oral Processingの重要性	林宏和	口腔リハビリテーション科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
解剖体造影CTを用いた下顎骨インプラント手術時のリスクの検証と指標化	勝見祐二	顎顔面口腔外科学(2外科)	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
TGFβシグナルの亢進は脳小血管病を引き起こすか？	加藤泰介	神経内科学分野	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト悪性腫瘍を対象としたリボソーム遺伝子変異解析	大橋瑠子	病理部	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新規ハイドロダイナミック遺伝子導入システムによる遺伝子治療の前臨床研究	上村顕也	第三内科	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
抗MICA抗体による抗体関連型拒絶反応を応用した肝細胞癌に対する新規治療法の開発	上村博輝	第三内科	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
老化シグナルによる心不全制御機構の解明	吉田陽子	循環器内科学分野(内科学第一)	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
NK細胞へのIL-21遺伝子導入:新たな細胞療法の開発	高地貴行	小児科学分野	650,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性辺縁系脳炎との関連から治療抵抗性統合失調症の病態解明と治療の確立に迫る	斎藤摩美	精神科	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
移植ドナー肺における常温生体外肺還流中のストレス負荷による新しい肺評価法の探求	小池輝元	外科学第二	2,860,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
ポリノスタットによるオートファジー誘導とMGMT抑制効果に関する研究	小倉良介	脳神経外科学分野	2,340,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
脊髄後角における神経ステロイドによる痛覚伝達制御の解明	山本豪	麻酔科学分野	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
麻薬性鎮痛薬の急性耐性における5-HT ₃ 受容体の関与メカニズムの解明	種岡美紀	麻酔科学分野	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
嗅神経細胞再生におけるPSD-95(Dlg4)の役割の解析	石岡孝二郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
経角膜電気刺激治療の他覚的および定量的治療評価方法の確立	畑瀬哲尚	眼科学分野	2,730,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティクスから探る口唇・口蓋の発生分子機構	川崎真依子	冠・ブリッジ診療科	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
在宅療養患者の咀嚼機能向上に寄与する、食支援のための簡便な食事姿勢探索法の確立	昆はるか	義歯診療科	2,080,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
咽頭電気刺激の嚥下誘発効果と神経・筋機構の解明	真柄仁	摂食・嚥下機能回復部	1,430,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
メカニカルストレスを利用した高機能化歯根膜細胞シートの開発	加来咲子	冠・ブリッジ診療科	3,640,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
血管の早期新生によって移植細胞の生着を促進する骨増成法の開発	Rosales Marcelo	生体歯科補綴学(2補綴)	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜で癌特性を司るケラチン17:mTORシグナル経路を介した発癌機構の解析	三上俊彦	口腔再建外科	1,040,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
p53ノックアウト口唇口蓋裂感受性マウスを用いた口蓋裂発生メカニズムの解明	西川敦	顎顔面口腔外科	1,950,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
舌の発生分子機構解明の基盤研究～一次繊毛からの解析～	川崎勝盛	小児歯科学(小児歯)	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
新規イオンチャンネルTRPV1が歯周炎病態形成に及ぼす影響	高橋直紀	歯周診断・再建学(2保存)	2,210,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
薬剤性歯肉増殖症における病態ネットワーク解析	清水太郎	歯周病科	1,560,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
4次元超音波コーヒーを用いた咀嚼時における舌の動態解析法の確立	渡邊賢礼	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	2,470,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
舌機能障害が嚥下に及ぼす影響	辻村恭憲	摂食・嚥下リハビリテーション学(加齢)	1,690,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子情報(一塩基多型)と既知危険因子を統合した新しい糖尿病発症予測モデルの構築	児玉暁	血液・内分泌・代謝内科学分野(内科学第一)	1,170,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
糖尿病で生じる高グルコース・高インスリン状態がアミロイドβ産生に及ぼす影響	徳武孝允	神経内科	1,820,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
コレステロール吸収阻害剤を併用した小児期発症パセドウ病の初期治療の検討	長崎啓祐	小児科学分野	780,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会
腸管を介した歯周炎-メタボリックシンドローム病因論 —TRPチャンネルの関与—	野中由香莉	歯周病科	1,300,000	補・委 独立行政法人日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
血管ニッチによって制御されるステムセルエイジングと加齢関連疾患発症機序の解明	南野徹	循環器内科学分野 (内科学第一)	26,780,000	補 ・ 委	文部科学省

小計1件
合計284件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Shimizu I, Yoshida Y, Suda M, Minamino T.	循環器内科	DNA damage response and metabolic disease	Cell Metab. 2014;20:967-977.
2	Shimizu I, Tamar A, Kikuchi R, Shimizu A, Papanicolaou K, Maclauchlan S, Maruyama S, Walsh K.	循環器内科	Vascular rarefaction mediates whitening of brown fat in obesity.	J Clin Invest. 2014; 124:2099-2112.
3	Suzuki T, Hanawa H, Jiao S, Ohno Y, Hayashi Y, Yoshida K, Kashimura T, Obata H, Minamino T.	循環器内科	Inappropriate expression of hepcidin by liver congestion contributes to anemia and relative iron deficiency.	J Card Fail. 2014;20:268-277.
4	Katsuumi G, Shimizu W, Watanabe H, Noda T, Nogami A, Ohkubo K, Makiyama T, Takehara N, Kawamura Y, Hosaka Y, Sato M, Fukae S, Chinushi M, Oda H, Okabe M, Kimura A, Maemura K, Watanabe I, Kamakura S, Horie M, Aizawa Y, Makita N, Minamino T.	循環器内科	Efficacy of bepridil to prevent ventricular fibrillation in severe form of early repolarization syndrome.	Int J Cardiol. 2014;172:519-522.
5	Yoshida Y, Hayashi Y, Suda M, Tateno K, Okada S, Moriya J, Yokoyama M, Nojima A, Yamashita M, Kobayashi Y, Shimizu I, Minamino T.	循環器内科	Notch signaling regulates the lifespan of vascular endothelial cells via a p16-dependent pathway.	PLoS One. 2014;20: 9: e100359.
6	Hasegawa K, Ohno S, Kimura H, Itoh H, Makiyama T, Yoshida Y, Horie M.	循環器内科	Mosaic KCNJ2 mutation in Andersen-Tawil syndrome: Targeted deep sequencing is useful for the detection of mosaicism.	Clin Genet. 2015;87:279-283.
7	Hasegawa K, Ashihara T, Kimura H, Jo H, Itoh H, Yamamoto T, Aizawa Y, Horie M.	循環器内科	Long-term pharmacological therapy of Brugada syndrome: is J-wave attenuation a marker of drug efficacy?	Intern Med. 2014; 53: 1523-1526.
8	Hasegawa K, Ohno S, Itoh H, Makiyama T, Aiba T, Nakano Y, Shimizu W, Matsuura H, Makita N, Horie M.	循環器内科	A rare KCNE1 polymorphism, D85N, as a genetic modifier of long QT syndrome.	J Arrhythm. 2014;30:161-166.
9	Chinushi M, Saitou O, Furushima H.	循環器内科	Radiofrequency catheter ablation of macroreentrant ventricular tachycardia after corrective surgery for tetralogy of Fallot.	Journal of Arrhythmia 2014;30:222-229.
10	Ohno Y, Hanawa H, Jiao S, Hayashi Y, Yoshida K, Suzuki T, Kashimura T, Obata H, Tanaka K, Watanabe T, Minamino T.	循環器内科	Liver congestion in heart failure contributes to inappropriately increased serum hepcidin despite anemia.	Tohoku J Exp Med. 2015;235(1):69-79.

小計10件

11	Takayama T, Okura Y, Okada Y, Honma K, Nashimoto A, Sato N, Yokoyama A, Minamino T.	循環器内科	Characteristics of neoplastic cardiac tamponade and prognosis after pericardiocentesis: a single-center study of 113 consecutive cancer patients.	Int J Clin Oncol. 2015 Feb 6.
12	Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Tsuji H, Fujihara K, Saito K, Hara S, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Simple self-reported behavioral or psychological characteristics as risk factors for future type 2 diabetes in Japanese individuals: Toranomon Hospital Health Management Center Study 14.	J Diabetes Investig. 2015 Mar;6(2):236-41.
13	Heianza Y, Kato K, Kodama S, Ohara N, Suzuki A, Tanaka S, Hanyu O, Sato K, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Risk of the development of Type 2 diabetes in relation to overall obesity, abdominal obesity and the clustering of metabolic abnormalities in Japanese individuals: does metabolically healthy overweight really exist? The Niigata Wellness Study.	Diabet Med. 2015 May;32(5):665-72.
14	Ohara N, Hanyu O, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Combination effect of hypertension and diabetes mellitus on urinary protein excretion.	J Hypertens. 2014 Nov;32(11):2278.
15	Ohara N, Suzuki H, Suzuki A, Kaneko M, Ishizawa M, Furukawa K, Abe T, Matsubayashi Y, Yamada T, Hanyu O, Shimohata T, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Reversible brain atrophy and cognitive impairment in an adolescent Japanese patient with primary adrenal Cushing's syndrome.	Neuropsychiatr Dis Treat. 2014 Sep 15;10:1763-7.
16	Heianza Y, Suzuki A, Fujihara K, Tanaka S, Kodama S, Hanyu O, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Impact on short-term glycaemic control of initiating diabetes care versus leaving diabetes untreated among individuals with newly screening-detected diabetes in Japan.	J Epidemiol Community Health. 2014 Dec;68(12):1189-95.
17	Heianza Y, Kato K, Kodama S, Suzuki A, Tanaka S, Hanyu O, Sato K, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Stability and changes in metabolically healthy overweight or obesity and risk of future diabetes: Niigata wellness study.	Obesity (Silver Spring). 2014 Nov;22(11):2420-5.
18	Heianza Y, Kato K, Fujihara K, Tanaka S, Kodama S, Hanyu O, Sato K, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Role of sleep duration as a risk factor for Type 2 diabetes among adults of different ages in Japan: the Niigata Wellness Study.	Diabet Med. 2014 Nov;31(11):1363-7.
19	Horikawa C, Kodama S, Fujihara K, Hirasawa R, Yachi Y, Suzuki A, Hanyu O, Shimano H, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	High Risk of Failing Eradication of Helicobacter Pylori in Patients with Diabetes: A Meta-analysis.	Diabetes Res Clin Pract. 2014 Oct;106(1):81-7.

小計9件

20	Horiakwa C, Yoshimura Y, Kamada C, Tanaka S, Tanaka S, Hanyu O, Araki A, Ito H, Tanaka A, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Dietary Sodium Intake and Incidence of Diabetes Complications in Japanese Patients with Type 2 Diabetes -- Analysis of the Japan Diabetes Complications Study (JDCS).	J Clin Endocrinol Metab. 2014 Oct;99(10):3635-43.
21	Yachi Y, Tanaka Y, Nishibata I, Yoshizawa S, Fujihara K, Kodama S, Suzuki A, Hanyu O, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Second trimester postload glucose level as an important predictor of low birth weight infants: Tanaka Women's Clinic Study.	Diabetes Res Clin Pract. 2014 Sep;105(3):e16-9.
22	Horikawa C, Kodama S, Fujihara K, Yachi Y, Tanaka S, Suzuki A, Hanyu O, Shimano H, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Association of Helicobacter pylori Infection with Glycemic Control in Patients with Diabetes: A Meta-Analysis	J Diabetes Res. 2014;2014:250620.
23	Heianza Y, Arase Y, Tsuji H, Fujihara K, Saito K, Hsieh SD, Tanaka S, Kodama S, Hara S, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Metabolically Healthy Obesity, Presence or Absence of Fatty Liver, and Risk of Type 2 Diabetes in Japanese Individuals: Toranomon Hospital Health Management Center Study 20 (TOPICS 20).	J Clin Endocrinol Metab. 2014 Aug;99(8):2952-60.
24	Yosizawa S, Heianza Y, Arase Y, Saito K, Hsieh SD, Tsuji H, Hanyu O, Suzuki A, Tanaka S, Kodama S, Shimano H, Hara S, Sone H.	血液・内分泌・代謝内科	Comparison of different aspects of BMI History to Identify Undiagnosed Diabetes in Japanese Men and Women: Toranomon Hospital Health Management Center Study 12 (TOPICS 12)	Diabet Med. 2014 Nov;31(11):1378-86.
25	Tanaka T, Takizawa J, Miyakoshi S, Kozakai T, Fuse K, Shibasaki Y, Moriyama M, Ohshima K, Toba K, Furukawa T, Sone H, Masuko M.	血液・内分泌・代謝内科	Manifestations of fulminant CD8 T-cell post-transplant lymphoproliferative disorder following the administration of rituximab for lymphadenopathy with a high level of Epstein-Barr Virus (EBV) replication after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Intern Med. 2014;53(18):2115-9.
26	Sakamaki, Y	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Nephrotic syndrome and end-stage kidney disease accompanied by bicytopenia due to copper deficiency.	Intern Med
27	Watanabe, H	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	A case of endocapillary proliferative glomerulonephritis with macrophages phagocytosing monoclonal immunoglobulin lambda light chain.	Pathol Int
28	Yamamoto-Kabasawa, K	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Benefits of a 12-week lifestyle modification program including diet and combined aerobic and resistance exercise on albuminuria in diabetic and non-diabetic Japanese populations	Clin Exp Nephrol

29	Sato, H	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Characterization of anti-P monoclonal antibodies directed against the ribosomal protein-RNA complex antigen and produced using Murphy Roths large autoimmune-prone mice.	Clin Exp Immunol
30	Watanabe, H	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Role of the p.E66Q variant of GLA in the progression of chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol
31	Yamamoto, S	Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Use of renin-angiotensin system inhibitors is associated with reduction of fracture risk in hemodialysis patients.	PLoS One
32	Kamimura K, Imai M, Sakamaki A, Mori S, Kobayashi M, Mizuno K, Takeuchi M, Suda T, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Granulocytapheresis for the treatment of severe alcoholic hepatitis: a case series and literature review.	Dig Dis Sci 59: 482-488, 2014
33	Abe H, Kamimura K, Mamizu M, Shibasaki Y, Ishiguro T, Katada S, Nishiyama YK, Takahashi Y, Hatano YY, Mizuno K, Watanabe Y, Nagashima A, Takizawa J, Takeuchi M, Kawai H, Nomoto M, Sone H, Nishizawa M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Early diagnosis of hepatic intravascular lymphoma: a case report and literature review.	Intern Med 53: 587-593, 2014
34	Kamimura K, Abe H, Kamimura N, Yamaguchi M, Mamizu M, Ogi K, Takahashi Y, Mizuno KI, Kamimura H, Kobayashi Y, Takeuchi M, Yoshida K, Yamada K, Enomoto T, Takakuwa K, Nomoto M, Obata M, Katsuragi Y, Mishima Y, Kominami R, Kamimura T, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Successful management of severe intrahepatic cholestasis of pregnancy: report of a first Japanese case.	BMC Gastroenterol 14: 160, 2014
35	Kamimura K, Kanefuji T, Yokoo T, Abe H, Suda T, Kobayashi Y, Zhang G, Aoyagi Y, Liu D.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Safety assessment of liver-targeted hydrodynamic gene delivery in dogs.	PLoS One. 9: e107203, 2014
36	Abe H, Kamimura K, Kawai H, Kamimura H, Domori K, Kobayashi Y, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Diagnostic imaging of hepatic lymphoma.	Clin Res Hepatol Gastroenterol. pii: S2210-7401(14)00284-8, 2014

小計8件

37	Yamagiwa S, Tamura Y, Takamura M, Genda T, Ichida T, Ishikawa T, Kamimura T, Takahashi T, Suda T, Matsuda Y, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Increase of fucosylated alpha-fetoprotein fraction at the onset of autoimmune hepatitis and acute liver failure.	Hepatol Res 44(14):368-375, 2014.
38	Yamagiwa S, Kamimura H, Takamura M, Genda T, Ichida T, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Presence of Antibodies against Self Human Leukocyte Antigen Class II Molecules in Autoimmune Hepatitis.	Int J Med Sci 11(9):850-856, 2014.
39	Takamura M, Watanabe J, Sakamaki A, Honda Y, Kamimura K, Tsuchiya A, Yamagiwa S, Suda T, Matsuda Y, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Alcoholic liver disease complicated by deep bleeding into the muscle or retroperitoneum: report of three cases and a review of the literature.	Intern Med 53(16):1763-1768, 2014.
40	Takamura M, Kanefuji T, Suda T, Yokoo T, Kamimura H, Tsuchiya A, Kamimura K, Tamura Y, Igarashi M, Kawai H, Yamagiwa S, Nomoto M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Value of shear wave velocity measurements for the risk assessment of hepatocellular carcinoma development in patients with nonalcoholic fatty liver disease. HCC risk assessment by VTTQ	Hepatology International 8(2):240-249, 2014.
41	Matsuda Y, Sanpei A, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Hirose Y, Sakata J, Kobayashi T, Fujimaki S, Takamura M, Yamagiwa S, Yano M, Ohkoshi S, Aoyagi Y.	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Hepatitis B virus X stimulates redox signaling through activation of ataxia telangiectasia mutated kinase.	Int J Clin Exp Pathol 7(5):2032-2043, 2014.
42	Yamagiwa S, Sato Y, Ichida T, Setsu T, Tominaga K, Kamimura H, Tsuchiya A, Takamura M, Matsuda Y, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Imbalance between CD56(+bright) and CD56(+dim) natural killer cell subsets in the liver of patients with recurrent hepatitis C after liver transplantation.	Biomed Res 35(3):177-184, 2014.
43	Matsuda Y, Wakai T, Kubota M, Osawa M, Hirose Y, Sakata J, Kobayashi T, Fujimaki S, Takamura M, Yamagiwa S, Aoyagi Y.	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Valproic acid overcomes transforming growth factor- β -mediated sorafenib resistance in hepatocellular carcinoma.	Int J Clin Exp Pathol 7(4):1299-1313, 2014.
44	Yamagiwa S, Kamimura H, Takamura M, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Autoantibodies in primary biliary cirrhosis: Recent progress in research on the pathogenetic and clinical significance.	World J Gastroenterol 20(10):2606-2612, 2014.
45	Aso-Ishimoto Y, Yamagiwa S, Ichida T, Miyakawa R, Tomiyama C, Sato Y, Watanabe H, Aoyagi Y.	Division of Gastroenterology and Hepatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Increased activated natural killer T cells in the liver of patients with advanced stage primary biliary cirrhosis.	Biomed Res. 2014;35(2):161-9.
46	Mizuno K, Suzuki Y, Takeuchi M, Kobayashi M, Aoyagi Y.	Department of Endoscopy, Niigata University Hospital	Natural history of diminutive colorectal polyps: long-term prospective observation by colonoscopy.	Dig Endosc. 2014 Apr;26 Suppl 2:84-9.

47	Tsuchiya A, Lu WY, Weinhold B, Boulter L, Stutchfield BM, Williams MJ, Guest RV, Minnis-Lyons SE, MacKinnon AC, Schwarzer D, Ichida T, Nomoto M, Aoyagi Y, Gerardy-Schahn R, Forbes SJ.	Medical Research Council Center for Regenerative Medicine, The University of Edinburgh; Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata University	Polysialic acid/neural cell adhesion molecule modulates the formation of ductular reactions in liver injury.	Hepatology. 2014 Nov;60(5):1727-40.
48	Seino S, Tsuchiya A, Watanabe M.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Niigata Prefectural Shibata Hospital; Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Science, Niigata University	A rare primary liver tumor that responded to sorafenib.	Gastroenterology. 2014 Dec;147(6):1226-7.
49	Kimura T, Jiang H, Konno T, Seto M, Iwanaga K, Tsujihata M, Satoh A, Onodera O, Kakita A, Takahashi H.	神経内科	Bunina bodies in motor and non-motor neurons revisited: A pathological study of an ALS patient after Long-term survival on a respirator	Neuropathology 34(4):392-7, 2014
50	Takayoshi Tokutake1, Atsushi Ishikawa2, Nahoko Yoshimura3, Akinori Miyashita4, Ryozo Kuwano5, Masatoyo Nishizawa1, Takeshi Ikeuchi51; Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan2; Department of Neurology Brain Disease Center Agano Hospital, Niigata, Japan3; Department of Neurology Tokyo Metropolitan Health and Medical4; Department of Molecular Genetics, Brain Research Institute, Niigata University, Japan5; Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan6; Department of Molecular Genetics, Brain Research Institute, Niigata University, Japan	神経内科	Clinical and neuroimaging features of patient with early-onset Parkinson's disease with dementia carrying SNCA p.G51D mutation	Parkinsonism and Related Disorders 20(2):262-264, 2014

小計4件

51	Kunio Kawamura ¹ , Tetsuya Takahashi ¹ , Masato Kanazawa ¹ , Hironaka Igarashi ² , Tsutomu Nakata ² , Masatoyo Nishizawa ¹ , Takayoshi Shimohata ¹ 1;Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan; 2; Department of Center for Integrated Human Science, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan	神経内科	Effects of Angiotensin-1 on Hemorrhagic Transformation and Cerebral Edema after Tissue Plasminogen Activator Treatment for Ischemic Stroke in Rats	PLoS One 9(6):e98639, 2014
52	Yuka Koike ¹ , Tomohiko Ishihara ¹ , Tetsutaro Ozawa ¹ , Naomi Muzaki ¹ , Hiroshi Moro ² , Takayoshi Shimohata ¹ and Masatoyo Nishizawa ¹ ; 1Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, and 2Division of Respiratory Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan	神経内科	Discontinuation of continuous positive airway pressure treatment in multiple system atrophy	Sleep Medicine 15(9):1147-1149, 2014
53	Tetsutaro Ozawa ^{a,*} , Jun Tokunaga ^a , Musashi Arakawa ^a , Atushi Ishikawa ^b , Ryo-ko Takeuchi ^a , Hirohito Sone ^c , Masatoyo Nishizawa ^a aDepartment of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuoku, Niigata, Japan bDepartment of Neurology, Brain Disease Center Agano Hospital, 6317-15 Yasuda, Agano, Niigata 959-2221, Japan. cDepartment of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Niigata University Faculty of Medicine, 1 Asahimachidori, Chuoku, Niigata 951-8510, Japan	神経内科	The circulating Level of Leptin and blood pressure in patients with multiple system atrophy.	Journal of the Neurological Sciences 347(1-2):349-351, 2014
54	Yokoseki A, Saji E, Arakawa M, Kosaka T, Hokari M, Toyoshima Y, Okamoto K, Takeda S, Sanpei K, Kikuchi H, Hirohata S, Akazawa K, Kakita A, Takahashi H, Nishizawa M, Kawachi I.	神経内科	Hypertrophic pachymeningitis: significance of myeloperoxidase anti-neutrophil cytoplasmic antibody.	Brain 137(Pt 2):520-536, 2014

小計4件

55	Kensaku Kasuga ^{1,2,6} ; Masataka Kikuchi ^{1,3,6} ; Takayoshi Tokutake ⁴ ; Akihiro Nakaya ^{1,5} ; Toshiyuki Tezuka ⁴ ; Tamao Tsukie ^{1,3} ; Norikazu Hara ¹ ; Akinori Miyashita ¹ ; Ryozo Kuwano ¹ and Takeshi Ikeuchi ¹ ; ¹ Department of Molecular Genetics, Brain research Institute, Niigata University, Niigata, Japan; ² Center for Transdisciplinary research Niigata University, Niigata, Japan; ³ Research Association for Biotechnology, Tokyo, Japan; ⁴ Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Japan; and ⁵ Department of Genome Informatics, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan; ⁶ These authors contributed equally	神経内科	Short communication Systematic review and meta-analysis of Japanese familial Alzheimer's disease and FTDP-17	Journal of Human Genetic 60(5):281-283, 2015
56	Yuka Koikea, Masato Kanazawa, Kenshi Terajima, Kei Watanabe, Masayuki Ohashi, Naoto Endo, Takayoshi Shimohataa, Masatoyo	神経内科	Cryptococcal meningitis successfully treated with voriconazole and Low-dose amphotericin B.	Neurology and Clinical Neuroscience
57	Tetsutaro Ozawa ^{a,*} , Jun Tokunaga ^a , Musashi Arakawa ^a , Atushi Shikawa ^b , Ryoiko Takeuchi ^a , Hirohito Sone ^c , Masatoya Nishizawa ^a ^a Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuoku, Niigata, Japan ^b Department of Neurology, Brain Disease Center Agano Hospital, 6317-15 Yasuda, Agano, Niigata 959-2221, Japan. ^c Department of Hematology, Endocrinology and Metabolism, Niigata University Faculty of Medicine, 1 Asahimachidori, Chuoku, Niigata 951-8510, Japan	神経内科	The circulating Level of Leptin and blood pressure in patients with multiple system atrophy.	Journal of the Neurological Sciences 15;347(1-2):349-351, 2014
58	Akiko Yokoseki, Masatoyo Nishizawa and Izumi Kawachi; Department of Neurology, Brain Research Institute, Niigata University, Niigata, Japan.	神経内科	Immune-mediated hypertrophic pachymeningitis: clinical significance of anti-neutrophil cytoplasmic antibody and granulomatosis with polyangiitis (Wegener's granulomatosis)	Clinical and Experimental Neuroimmunology 5(3):275-276, 2014

小計4件

59	Miho Akazawaa,Keiko Tanakab,Masami Tanakac,Teruhiko Sekiguchid,Tamako Misawaa,Kazutaka Nishinaa,Izumi Kawachid,Masatoyo Nishizawad,Hidehiro Mizusawaa,Takanori Yokotaa;aDepartmento of Neurology and Neurological Science,Graduate School of medicine,Tokyo Medical and Dental University,Tokyo,b,Department of neurology,Kanazawa Medical University,Ishikawa,c,Multiple Sclerosis Center,Utano National Hospital,Kyoto,and dDepartment of Neurology,Brain research Institute,Niigata	神経内科	Can Anti-AQP4 Antibody Damage the Blood-Brain Barrier?	European Neurology
60	Yuka Koikea,Masato kanazawaa,Kenshi Terajimab,Kei Watanabec,Masayuki Ohashic,Naoto Endoc,Takayoshi Shimohataa,Masatoyo Nishizawaa	神経内科	Apparent diffusion coefficients distinguish amyotrophic lateral sclerosis from cervical spondylotic myelopathy	Clinical neurology and Neurosurgery 132:33-36, 2015
61	Matsumoto Y, Maemondo M, Ishii Y, Okudera K, Demura Y, Takamura K, Kobayashi K, Morikawa N, Gemma A, Ishimoto O, Usui K, Harada M, Miura S, Fujita Y, Sato I, Saijo Y for the North-East Japan Study Group	Dept of Medical Oncology, Niigata University Medical and Dental Hospital	A phase II study of erlotinib monotherapy in pre-treated non-small cell lung cancer without EGFR gene mutation who have never/light smoking history:Re-evaluation of EGFR gene status (NEJ006/TCOG0903)	Lung Cancer
62	Zhou Q, Ye X, Sun R, Matsumoto Y, Moriyama M, Asano Y, Ajioka Y, Saijo Y.	Dept of Medical Oncology, Niigata University Medical and Dental Hospital	Differentiation of Mouse-induced Pluripotent Stem Cells into Alveolar Epithelial Cells In Vitro for In Vivo.	Stem Cells Trans Med.2014 Jun;3(6):675-85.
63	Suzuki Y	Department of Psychiatry	High prevalence of underweight and undernutrition in Japanese inpatients with schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci 68(1): 78-82, 2014.
64	Egawa J	Department of Psychiatry	Possible association between the oxytocin receptor gene and N-acetylaspartate of the right medial temporal lobe in autism spectrum disorders (letter).	Psychiatry Clin Neurosci 68(1): 83, 2014.
65	Suzuki Y	Department of Psychiatry	Effects of olanzapine on the PR and QT intervals in patients with schizophrenia.	Schizophr Res 152(1): 313-314, 2014.

小計7件

66	Shibuya M	Department of Psychiatry, Health Administration Center	Interleukin 1 beta gene and risk of schizophrenia: Detailed case-control and family-based studies and an updated meta-analysis.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 29(1): 31-37, 2014.
67	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Division of Medical Education	The cardiomyopathy-associated 5 (CMYA5) gene and risk of schizophrenia: Meta-analysis of rs3828611 and rs4704591 in East Asian populations (letter).	Asian J Psychiatr 7(1): 95-96, 2014.
68	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Division of Medical Education	A rare MIR138-2 gene variation is associated with schizophrenia in a Japanese population (letter).	Psychiatry Res 215(3): 801-802, 2014.
69	Igeta H	Department of Psychiatry	Cardiovascular pharmacodynamics of donepezil hydrochloride on the PR and QT intervals in patients with dementia.	Hum Psychopharmacol Clin Exp 29(3): 292-294, 2014.
70	Suzuki Y	Department of Psychiatry	Changes in PR and QTc intervals after switching from olanzapine to risperidone in patients with stable schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci 68(5): 353-356, 2014.
71	Fukui N	Department of Psychiatry	Promoter variation in the catechol-O-methyltransferase gene is associated with remission of symptoms during fluvoxamine treatment for major depression.	Psychiatry Res 218(3): 353-355, 2014.
72	Tachibana A	Department of Psychiatry	Psychological distress in an earthquake-devastated area with pre-existing high rate of suicide.	Psychiatry Res 219(2): 336-340, 2014.
73	Suzuki Y	Department of Psychiatry	Effect of risperidone metabolism and P-glycoprotein gene polymorphism on QT interval in patients with schizophrenia.	Pharmacogenomics J 14(5): 452-456, 2014.
74	Egawa J	Department of Psychiatry	Resequencing and association analysis of OXTR with autism spectrum disorder in a Japanese population.	Psychiatry Clin Neurosci 69(3):131-5, 2015
75	Ono S	Department of Psychiatry	GIPR gene polymorphism and weight gain in schizophrenia patients treated with olanzapine.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci 27(2):162-4, 2015

小計10件

76	Inoue E	Department of Psychiatry	Rare heterozygous truncating variations and risk of autism spectrum disorder:whole-exome sequencing of a multiplex family and follow-up study in a Japanese population.	Psychiatry Clin Neurosci 69(8):472-476,2015.
77	Sugimoto A	Department of Psychiatry	Efficacy of atomoxetine for symptoms of attention-deficit/hyperactivity in children with a history of child abuse.	J Child Adol Psychopharmacol 25(3):269-71,2015.
78	Egawa J	Department of Psychiatry	Novel rare missense variations and risk of autism spectrum disorder:whole-exome sequencing in two families with affected siblings and a two-stage follow-up study in a Japanese population.	PLoS One 25;10(3):e0119413, 2015.
79	Watanabe Y	Department of Psychiatry, Division of Medical Education	DRD2 Ser311Cys polymorphism and risk of schizophrenia(letter).	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet 168(3):224-8,2015.
80	Shichiri K	Department of Psychiatry	Features of developmental level of defense mechanisms and adjustment status of university students in Japan.	Health(in press).
81	Keisuke Nagasaki, et al.	Department of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan; Division of Pediatrics, Department of Homeostatic Regulation and Development, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata,	Long-term follow-up study for a patient with Floating-Harbor syndrome due to a hotspot SRCAP mutation.	Am J Med Genet A. 2014 Mar;164A(3):731-5.
82	池住洋平、他	医歯学総合病院小児科	Glomerular epithelial cell phenotype in diffuse mesangial sclerosis: a report of 2 cases with markedly increased urinary podocyte excretion.	Human Pathology
83	池住洋平、他	医歯学総合病院小児科	Low birthweight and premature birth are risk factors for podocytopenia and focal segmental glomerulosclerosis.	American Journal of Nephrology
84	Saitoh A, et al.	Department of Pediatrics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences,	Recent progress and concerns regarding the Japanese immunization program: addressing the "vaccine gap".	Vaccine. 2014 Jul 23;32(34):4253-8.
85	Tanaka R, Kosugi S, Sato D, Hirukawa H, Tada T, Ichikawa H, Hanyu T, Ishikawa T, Kobayashi T, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Conservative treatment of esophageal perforation related to a peptic ulcer with pyloric stenosis.	Clin J Gastroenterol. 2014 Aug;7(4):295-8.

小計10件

86	Ichikawa H, Kosugi S, Kanda T, Ishikawa T, Yajima K, Akazawa K, Suzuki T, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Prognostic significance of initial recurrence site in hematogenous recurrence of esophageal squamous cell carcinoma.	Hepatogastroenterology. 2014 Nov-Dec;61(136):2241-6.
87	Shimada Y, Kido T, Kameyama H, Nakano M, Yagi R, Tajima Y, Okamura T, Nakano M, Nagahashi M, Kobayashi T, Minagawa M, Kosugi SI, Wakai T, Ajioka Y.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Clinical significance of perineural invasion diagnosed by immunohistochemistry with anti-S100 antibody in Stage I-III colorectal cancer.	Surg Today. 2014 Dec 13. [Epub ahead of print]
88	Ichikawa H, Yoshida A, Kanda T, Kosugi S, Ishikawa T, Hanyu T, Taguchi T, Sakumoto M, Katai H, Kawai A, Wakai T, Kondo T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Prognostic significance of promyelocytic leukemia expression in gastrointestinal stromal tumor; integrated proteomic and transcriptomic analysis.	Cancer Sci. 2015 Jan;106(1):115-24. doi: 10.1111/cas.12565 . Epub 2014 Dec 4.
89	Hanyu T, Matsuki A, Kosugi S, Ishikawa T, Nashimoto A, Yabusaki H, Aizawa M, Ichikawa H, Shimada Y, Hirose Y, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Prognostic analysis of submucosa-invasive gastric cancer with lymph node metastasis.	j.surg.2014.10.009. Epub 2014 Nov 3.
90	Sakata J, Takizawa K, Takano K, Kobayashi T, Minagawa M, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	[Current surgical treatment for gallbladder cancer].	Nihon Geka Gakkai Zasshi. 2014 Jul;115(4):185-9.
91	Nagahashi M, Takabe K, Terracina KP, Soma D, Hirose Y, Kobayashi T, Matsuda Y, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Sphingosine-1-phosphate transporters as targets for cancer therapy.	Biomed Res Int. 2014;2014:651727. doi: 10.1155/2014/651727. Epub 2014 Jul 15.
92	Kobayashi T1, Miura K2, Ishikawa H2, Oya H2, Sato Y2, Minagawa M2, Sakata J2, Takano K2, Takizawa K2, Nogami H2, Kosugi SI2, Wakai T2.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Laparoscope-assisted Hassab's operation for esophagogastric varices after living donor liver transplantation: a case report.	Transplant Proc. 2014 Apr;46(3):986-8. doi: 10.1016/j.transproceed.2013.10.047.
93	Kobayashi T1, Gruessner AC2, Wakai T3, Sutherland DE4.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Three types of simultaneous pancreas and kidney transplantation.	Transplant Proc. 2014 Apr;46(3):948-53. doi: 10.1016/j.transproceed.2013.11.058.
94	Shimada Y1, Ajioka Y2, Wakai T1.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	[Detection of micrometastasis in patients with colorectal cancer].	Nihon Rinsho. 2014 Jan;72(1):89-94.
95	Kakuta T, Kosugi S, Kanda T, Ishikawa T, Hanyu T, Suzuki T, Wakai T.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Prognostic factors and causes of death in patients cured of esophageal cancer.	Ann Surg Oncol. 2014 May;21(5):1749-55. doi: 10.1245/s10434-014-3499-7. Epub 2014 Feb 8.
96	Manba N1, Koyama Y1, Kosugi S1, Ishikawa T1, Ichikawa H1, Minagawa M1, Kobayashi T1, Wakai T1.	新潟大学大学院 消化器・一般外科	Is early enteral nutrition initiated within 24 hours better for the postoperative course in esophageal cancer surgery?	J Clin Med Res. 2014 Feb;6(1):53-8. doi: 10.4021/jocmr1665w. Epub 2013 Dec 13.

97	Sugimoto, Ai; Ota, Noritaka; Miyakoshi, Chisato; et al. Mid- to long-term aortic valve-related outcomes after conventional repair for patients with interrupted aortic arch or coarctation of the aorta, combined with ventricular septal defect: the impact of bicuspid aortic valve. EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY. 卷:46号: 6 ページ: 952-960 発行: DEC 2014	心臓血管外科	Mid- to long-term aortic valve-related outcomes after conventional repair for patients with interrupted aortic arch or coarctation of the aorta, combined with ventricular septal defect: the impact of bicuspid aortic valve	EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY. 卷:46号: 6 ページ: 952-960 発行: DEC 2014
98	Sugimoto, Ai; Ota, Noritaka; Murata, Masaya; et al.	心臓血管外科	Extra-aortic commissuroplasty concomitant with fenestrated Fontan operation for neo-aortic valve regurgitation after Norwood reconstruction.	INTERACTIVE CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY. 卷: 19号: 2 ページ: 329-330 発行: AUG 2014
99	Watanabe, Maya; Shiraishi, Shuichi; Takahashi, Masashi; et al.	心臓血管外科	Fontan operation in a paediatric patient with a history of Takotsubo cardiomyopathy.	INTERACTIVE CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY. 卷: 19号: 2 ページ: 326-328 発行: AUG 2014
100	Sasaki, T., Ogose, A., Kawashima, H., Hotta, T., Hatano, H., Ariizumi, T., Umezu, H., Ohashi, R., Tohyama, T., Tanabe, N., Endo, N.	整形外科	Real-time polymerase chain reaction analysis of MDM2 and CDK4 expression using total RNA from core-needle biopsies is useful for diagnosing adipocytic tumors.	BMC cancer 14: 468, 2014.
101	Katsumi, K., Yamazaki, A., Watanabe, K., Hirano, T., Ohashi, M., Endo, N.	整形外科	The characteristic clinical symptoms of C-4 radiculopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament.	Journal of Neurosurgery Spine 20(5): 480-484, 2014
102	Ohashi, M., Yamazaki, A., Watanabe, K., Katsumi, K., Shoji, H.	整形外科	Two-year clinical and radiological outcomes of open-door laminoplasty with prophylactic bilateral C4-C5 foraminotomy in a prospective study.	Spine 39: 721-727, 2014
103	Oike, N., Ogose, A., Kawashima, H., Umezu, H., Inagawa, S.	整形外科	Extraskeletal myxoid chondrosarcoma arising in the femoral vein: a case report.	Skeletal Radiology 43: 1465-7
104	Watanabe S, Sato T, Omori G, Koga Y, Endo N.	整形外科	Change in tibiofemoral rotational alignment during total knee arthroplasty.	J Orthop Sci. 19(4): 571-8, 2014
105	Sano H, Kikuta J, Furuya, Kondo N, Endo N, Ishii M.	整形外科	Intravital bone imaging by two-photon excitation microscopy to identify osteocytic osteolysis in vivo	Bone 74:134-139, 2015

小計9件

106	Matsuda K, Kikuchi M, Murase T, Hosokawa K, Shibata M	形成・美容外科	Free flap transfer for complex regional pain syndrome type II	Case Rep Plast Surg Hand Surg 11-4, 2014
107	Kubota M.	Department of Pediatric Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	The area and attachment abnormalities of the gubernaculum in patients with undescended testes in comparison with those with retractile testes.	Pediatr Surg Int
108	Matuda Y.	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Hepatitis B virus X stimulates redox signaling through activation of ataxia telangiectasia mutated kinase.	Int J Clin Exp Pathol
109	Matuda Y.	Department of Medical Technology, Niigata University Graduate School of Health Sciences	Valproic acid overcomes transforming growth factor- β -mediated sorafenib resistance in hepatocellular carcinoma.	Int J Clin Exp Pathol
110	Nishikawa T, Okamoto K, Matsuzawa H, Terumitsu M, Nakada T, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Detectability of neural tracts and nuclei in the brainstem utilizing 3DAC-PROPELLER.	J Neuroimaging
111	Ogura R, Yoshimura J, Sano M, Kawasaki S, Nishiyama K, Okamoto K, Takahashi H, Fujii Y, Kakita A.	Department of Neurosurgery	Entrapment of the inferior horns of the lateral ventricle with enlargement of the bilateral choroid plexus.	Neuropathology
112	Kurabe S, Itoh K, Matsuzawa H, Nakada T, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Expansion of sensorimotor cortical activation for unilateral hand motion during contralateral hand deafferentation.	Neuroreport
113	Harada A, Nishiyama K, Yoshimura J, Sano M, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Intraspinal lesions associated with sacrococcygeal dimples.	J Neurosurg Pediatr.
114	Nishiyama K, Natori Y, Oka K.	Department of Neurosurgery	A novel three-dimensional and high-definition flexible scope.	Acta Neurochir (Wien).
115	Yoshimura J, Tsukamoto Y, Sano M, Hasegawa H, Nishino K, Saito A, Fukuda M, Okamoto K, Fujii Y	Department of Neurosurgery	Successful removal of a huge hypervascular tentorial cavernous angioma after preoperative endovascular embolization.	J Neurosurg Pediatr.
116	Fukuda M, Takao T, Hiraishi T, Yoshimura J, Yajima N, Saito A, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Clinical factors predicting outcomes after surgical resection for sporadic cerebellar hemangioblastomas.	World Neurosurg.
117	Natsumeda M, Igarashi H, Nomura T, Ogura R, Tsukamoto Y, Kobayashi T, Aoki H, Okamoto K, Kakita A, Takahashi H, Nakada T, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Accumulation of 2-hydroxyglutarate in gliomas correlates with survival: a study by 3.0-tesla magnetic resonance spectroscopy.	Acta Neuropathol Commun.

小計12件

118	Fukuda M, Takao T, Hiraishi T, Aoki H, Ogura R, Sato Y, Fujii Y.	Department of Neurosurgery	Cortico-cortical activity between the primary and supplementary motor cortex: An intraoperative near-infrared spectroscopy study.	Surg Neurol Int.
119	Hayashi R, Fujiwara H, Morishita M, Ito M, Shimomura Y	Division of Dermatology,, Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Identification of a recurrent mitochondrial mutation in a Japanese family with palmoplantar keratoderma, nail dystrophy, and deafness.	Eur J Dermatol. 2015 Jan-Feb;25(1):79-81.
120	Hayashi R, Bito T, Taniguchi-Ikeda M, Farooq M, Ito M, Shimomura Y.	Division of Dermatology,, Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Japanese case of oculodentodigital dysplasia caused by a mutation in the GJA1 gene.	J Dermatol. 2014 Dec;41(12):1109-10.
121	Hayashi R, Inui S, Farooq M, Ito M, Shimomura Y.	Division of Dermatology,, Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Expression studies of a novel splice site mutation in the LIPH gene identified in a Japanese patient with autosomal recessive woolly hair.	J Dermatol. 2014 Oct;41(10):890-4.
122	Hayashi R, Akasaka T, Ito M, Shimomura Y.	Division of Dermatology,, Laboratory of Genetic Skin Diseases, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Compound heterozygous mutations in two distinct catalytic residues of the LIPH gene underlie autosomal recessive woolly hair in a Japanese family.	J Dermatol. 2014 Oct;41(10):937-8.
123	Aizawa A, Ito A, Masui Y, Ito M.	Department of Dermatology, Niigata University School of Medicine	Case of allergic contact dermatitis due to 1,3-butylene glycol.	J Dermatol. 2014 Sep;41(9):815-6.
124	Masayuki Tasaki, Kazuhide Saito, Yuki Nakagawa, Masahiro Ikeda, Naofumi Imai, Ichiei Narita, Kota Takahashi	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Niigata Graduate School of Medical and Dental Sciences,	Effect of donor-recipient age difference on long-term graft survival in living kidney transplantation	Int Urol Nephrol. 46(7):1441-6, 2014.
125	Masayuki Tasaki, Shimizu A, Hanekamp I, Torabi R, Villani V, Yamada K.	Transplantation Biology Research Center, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, Boston, Massachusetts.	Rituximab treatment prevents the early development of proteinuria following pig-to-baboon xeno-kidney transplantation.	J Am Soc Nephrol. 25(4):737-44, 2014.
126	Noboru Hara, Makoto Kawaguchi, Keisuke Takeda, Yoh Zen	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata	Retroperitoneal disorders associated with IgG4-related autoimmune pancreatitis	World J Gastroenterol. 20(44):16550-8, 2014.

小計9件

127	Noboru Hara, Tsutomu Nishiyama	Division of Urology, Department of Regenerative and Transplant Medicine, and Division of Molecular Oncology, Department of Signal Transduction Research, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata Japan	Androgen Metabolic Pathway Involved in Current and Emerging Treatment for Men with Castration Resistant Prostate Cancer: Intraprostatic Androgens as Therapeutic Targets and Endocrinological Biomarkers	Curr Drug Targets.15(13):1215-24, 2014.
128	Takizawa I, Lawrence MG, Balanathan P, Rebello R, Pearson HB, Garg E, Pedersen J, Pouliot N, Nadon R, Watt MJ, Taylor RA, Humbert P, Topisirovic I, Larsson O, Risbridger GP, Furic L.	Department of Anatomy and Developmental Biology, Monash University, Clayton, Victoria, Australia	Estrogen receptor alpha drives proliferation in PTEN-deficient prostate carcinoma by stimulating survival signaling, MYC expression and altering glucose sensitivity.	Oncotarget. 6(2):604-16.2015.
129	Sakaue Y, Ueda J, Seki M, Tanaka T, Togano T, Yoshino T, Fukuchi T.	Division of Ophthalmology and Visual Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 1-757 Asahimachi-dori, Niigata 951-8510, Japan.	Evaluation of the new digital goldmann applanation tonometer for measuring intraocular pressure.	J Ophthalmol.2014;2014:461681. doi: 10.1155/2014/461681. Epub 2014 Jul 10.
130	Igarashi R, Togano T, Sakaue Y, Yoshino T, Ueda J, Fukuchi T.	Department of Ophthalmology and Visual Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, 1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata 951-8510,	Effect on Intraocular Pressure of Switching from Latanoprost and Travoprost Monotherapy to Timolol Fixed Combinations in Patients with Normal-Tension Glaucoma	J Ophthalmol. 2014;2014:720385. doi: 10.1155/2014/720385. Epub 2014 Nov 19.
131	Seki M, Fukuchi T, Yoshino T, Ueda J, Hasebe H, Ueki S, Oyama T, Fukushima A, Abe H.	*Division of Ophthalmology and Visual Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University †Seki Eye Clinic ‡Division of Ophthalmology, Nagaoka Chuo General Hospital, Niigata, Japan.	Secondary glaucoma associated with bilateral complete ring cysts of the ciliary body.	J Glaucoma. 2014 Sep;23(7):477-81. doi: 10.1097/IJG.0b013e31827a088c.
132	Takimoto Y, Ishida Y, Nakamura Y, Kamakura T, Yamada T, Kondo M, Kitahara T, Uno A, Imai T, Horii A, Okazaki S, Nishiike S, Inohara H, Shimada S	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	5-HT3 receptor expression in the mouse vestibular ganglion	Brain Res, 1557: 74-82, 2014
133	Kitahara T, Kamakura T, Ohta Y, Morihana T, Horii A, Uno A, Imai T, Mishiro Y, Inohara H	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Chronic otitis media with cholesteatoma with canal fistula and bone conduction threshold after tympanoplasty with mastoidectomy	Otol Neurotol, 35: 981-988, 2014
134	Nagasawa Y, Iio K, Fukuda S, Date Y, Iwatani H, Yamamoto R, Horii A, Inohara H, Imai E, Nakanishi T, Ohno H, Rakugi H, Isaka Y	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Periodontal disease bacteria specific to tonsil in IgA nephropathy patients predicts the remission by the treatment	PLoS ONE Volume 9, Article number e81636, 2014

小計8件

135	Kitahara T, Horii A, Imai T, Ohta Y, Morihana T, Inohara H, Sakagami M	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Does endolymphatic sac decompression surgery prevent bilateral development of unilateral Meniere's disease?	Laryngoscope 124: 1932-1936, 2014
136	Sato G, Sekine K, Matsuda K, Ueeda H, Horii A, Nishiike S, Kitahara T, Uno A, Imai T, Inohara H, Takeda N	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Long-term prognosis of hearing loss in patients with unilateral Meniere's disease.	Acta Otolaryngol 134: 1005-1010, 2014
137	Kitahara T, Horii A, Imai T, Ohta Y, Morihana T, Inohara H, Sakagami M	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Effects of endolymphatic sac decompression surgery on vertigo and hearing in bilateral Meniere's disease.	Otol Neurotol 35: 1852-1857, 2014
138	Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Yuka Morita, Shinsuke Ohshima Sugata Takahashi	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Can the pathogenesis of auditory ossicular malformations be explained by the branchial-based theory? - Evaluation by the consecutive distribution of embryologic foci in 87 cases -	Otology & Neurotology 35: 449-453. 2014.
139	Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Yuka Morita, Shinsuke Ohshima Sugata Takahashi	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Long-term follow-up results of canal wall down tympanoplasty with mastoid obliteration using the bone pate plate for canal wall reconstruction in cholesteatoma surgery.	Otology & Neurotology 35: 961-940. 2014.
140	Yuka Morita, Yutaka Yamamoto, Kuniyuki Takahashi, Shinsuke Ohshima Sugata Takahashi:	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Aquired cholesteatoma in children: clinical features and surgical outcome.	Auris Nasus Larynx 41:417-421. 2014.
141	Kuniyuki Takahashi, Yutaka Yamamoto, Shinsuke Ohshima, Yuka Morita, Sugata Takahashi:	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Primary paraganglioma in the facial nerve canal.	Auris Nasus Larynx 41: 93-96. 2014.
142	Togashi, Takafumi; Sugitani, Iwao; Toda, Kazuhisa;Takahasi Sugata.	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Surgical Management of Retropharyngeal Nodes Metastases from Papillary Thyroid Carcinoma	WORLD JOURNAL OF SURGERY NOV 2014 : 38 : 2831-2837
143	Yamazaki K, Ohta H, Shodo R, Matsuyama H, Takahashi S	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Clinicopathological features of mucoepidermoid carcinoma.	The Journal of Laryngology & Otology. 2014, 128: 91-95.
144	Ueki Y, Watanabe J, Hashimoto S, Takahashi S.	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	Cervical spine osteomyelitis and epidural abscess after chemoradiotherapy for hypopharyngeal carcinoma: a case report.	Case Rep Otolaryngol. 2014;2014:141307
145	Nonaka T, Ooki I, Enomoto T, Takakuwa K	産科婦人科	Complex chromosomal rearrangements incouples affected by recurrent spontaneous abortion.	Int J Gynaecol Obstet 40(6):1795-98
146	Serikawa T, Haino K, Takakuwa K, et al.	産科婦人科	Prenatal molecular diagnosis of X-linked hydrocephalus via a silent C924T mutation in the L1CAM gene.	Congenit Anom (Kyoto). 2014 Nov;54(4):243-5.

小計12件

147	Nonaka T, Ooki I, Enomoto T, et al.	産科婦人科	Two cases of recurrent abortion in which isodicentric chromosome 15 was observed in the husbands.	J Obstet Gynaecol Res. 2014 Jun;40(6):1795-8.
148	Tamura R, Kashima K, Nishino K, et al.	産科婦人科	Preoperative ultrasound-guided needle biopsy of 63 uterine tumors having high signal intensity upon T2-weighted magnetic resonance imaging.	Int J Gynecol Cancer. 2014 Jul;24(6):1042-7.
149	Yamaguchi M, Yamagishi Y, Nishikawa N, et al.	産科婦人科	Outcomes and Prognostic Factors for Adenocarcinoma/Adenosquamous Carcinomas Treated with Radical Hysterectomy and Adjuvant Therapy	Open Journal of Obstetrics and Gynecology, 2014, 4, 909-915
150	Yoshihara K	産科婦人科	Hiding in the dark: uncovering cancer drivers through image-guided genomics.	Genome Biol. 2014 Dec 20;15(12):563.
151	Yamazaki M, Ishikawa H, Kunii R, Tasaki A, Sato S, Ikeda Y, Yoshimura N, Aoyama H	Department of Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Relationship between CT features and high preoperative serum carcinoembryonic antigen levels in early-stage lung adenocarcinoma.	Clin Radiol. 2014 Jun;69(6):559-66.
152	Ikeda Y, Yoshimura N, Hori Y, Horii Y, Ishikawa H, Yamazaki M, Noto Y, Aoyama H	Department of Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	Analysis of decrease in lung perfusion blood volume with occlusive and non-occlusive pulmonary embolisms.	Eur J Radiol. 2014 Dec;83(12):2260-7
153	Yamazaki M, Ishikawa H, Kunii R, Tasaki A, Sato S, Ikeda Y, Yoshimura N, Hashimoto T, Tsuchida M, Aoyama H	Department of Radiology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.	A combination of preoperative CT findings and postoperative serum CEA levels improves recurrence prediction for stage I lung	Eur J Radiol. 2015 Jan;84(1):178-84
154	Kawaguchi G, Sasamoto R, Abe E, Ohta A, Sato H, Tanaka K, Maruyama K, Kaizu M, Ayukawa F, Yamana N, Liu J, Takeuchi M, Kobayashi M, Aoyama H	Departments of Radiation Oncology, Niigata University Medical and Dental Hospital, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata, Japan.	The effectiveness of endoscopic submucosal dissection followed by chemoradiotherapy for superficial esophageal cancer.	Radiat Oncol. 2015 Jan 31;10:31.
155	Petrenko AB, Furutani K, Baba H	麻酔科学分野	More Solid Evidence Is Required to Validate a Hypergravity-Induced Increase in Sensitivity to Propofol	Anesth Analg 119(5):1120-1, 2014
156	Sakagami N, Kobayashi T, Nozawa-Inoue K, Oda K, Kojima T, Maeda T, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for the Oral and Maxillofacial Region, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences; Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science, Niigata, Japan	A histological study of deformation of the mandibular condyle caused by distraction in a rat model.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 118(3):284-294, 2014.

小計10件

157	Uesugi T, Kobayashi T, Hasebe D, Tanaka R, Ike M, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Effects of orthognathic surgery on pharyngeal airway and respiratory function during sleep in patients with mandibular prognathism.	Int J Oral Maxillofac Surg 43(9):1082-90, 2014.
158	Takeuchi G, Kobayashi T, Hasebe D, Funayama A, Mikami T, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Changes in maximum lip closing force following orthognathic surgery in patients with jaw deformities.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 27(4):465-9, 2014.
159	Shingaki S, Kanemaru S, Oda Y, Niimi K, Mikami T, Funayama A, Saito C	Division of Reconstructive Surgery for Oral and Maxillofacial Region, Department of Tissue Regeneration and Reconstruction, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Distant metastasis and survival of adenoid cystic carcinoma after definitive treatment.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 26(3):312-6, 2014.
160	Koyama T, Kobayashi T, Maruyama S, Abe T, Swelam WM, Kodama Y, Hoshina H, Takagi R, Hayashi T, Saku T	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Oral and Maxillofacial Radiology, Niigata University Hospital, Niigata, Japan.	Radiation-induced undifferentiated high-grade pleomorphic sarcoma (malignant fibrous histiocytoma) of the mandible: report of a case arising in the background of long-standing osteomyelitis and review of the literature.	Pathol Res Pract. 210(12): 1123-1129, 2014.
161	Miyota S, Kobayashi T, Abe T, Miyajima H, Nagata M, Hoshina H, Kobayashi T, Takagi R, Saku T	Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata 951-8514, Japan	Intraoperative Assessment of Surgical Margins of Oral Squamous Cell Carcinoma Using Frozen Sections: A Practical Clinicopathological Management for Recurrences.	Biomed Res Int. 2014: 823968. doi: 10.1155 /2014 /823968. Epub 2014 Jun 24.
162	Saito T, Izumi K, Shiomi A, Uenoyama A, Ohnuki H, Kato H, Terada M, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Takagi R, Maeda T	Division of Oral Anatomy, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan; Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Zoledronic acid impairs re-epithelialization through down-regulation of integrin $\alpha v \beta 6$ and transforming growth factor beta signalling in a three-dimensional in vitro wound healing model.	Int J Oral Maxillofac Surg. 43(3): 373-380, 2014.
163	Matsuyama J, Tanaka R, Iizawa F, Sano T, Kinoshita-Kawano S, Hayashi-Sakai S, Mitomi T	Division of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Clinical and radiographic findings and usefulness of computed tomographic assessment in two children with regional odontodysplasia	Case Rep Dent, Vol 2015, Article ID 582462, 2014

164	Matsuyama J, Kinoshita-Kawano S, Hayashi-Sakai S, Mitomi T, Sano-Asahito T	Division of Pediatric Dentistry, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Severe impaction of the primary mandibular second molar accompanied by displacement of the permanent second premolar	Case Rep Dent, Epub 2015, Feb 25, 2015
165	Tosaka Y, Nakakura-Ohshima K, Murakami N, Ishii R, Saitoh I, Iwase Y, Yoshihara A, Ohuchi A, Hayasaki H	Department of Oral Health and Welfare, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University	Analysis of tooth brushing cycles.	Clin Oral Investig 18(8): 2045-53, 2014.
166	Hayasaki H, Saitoh I, Nakakura-Ohshima K, Hanasaki M, Nogami Y, Nakajima T, Inada E, Iwasaki T, Iwase Y, Sawami T, Kawasaki K, Murakami N, Murakami T, Kurosawa M, Kimi M, Kagoshima A, Souda M, Yamaguchi Y	Division of Pediatric Dentistry, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Tooth brushing for oral prophylaxis	Japanese Dental Science Review, 50: 69-77, 2014.
167	Nihara J, Gielo-Perczak K, Cardinal L, Saito I, Nanda R, Uribe F	医歯学総合研究科歯科矯正学分野	Finite element analysis of mandibular molar protraction mechanics using miniscrews.	Eur J Orthod 37(1): 95-100 2015.
168	Hiroto T, Koehler T, Yoshihara A, Biffar R, Micheelis W, Hoffmann T, Miyazaki H, Holtfreter B	予防歯科	Comparison of periodontal conditions among three elderly populations in Japan and Germany	J Clin Periodontol, 41(7): 633-642, 2014
169	Iwasaki M, Taylor GW, Manz MC, Yoshihara A, Sato M, Muramatsu K, Watanabe R, Miyazaki H	予防歯科	Oral health status: relationship to nutrient and food intake among 80-year-old Japanese adults	Community Dent Oral Epidemiol, 42(5): 441-450, 2014
170	Ogawa H, Damrongrungruang T, Hori S, Nohno K, Minagawa K, Sato M, Miyazaki H	予防歯科	Effect of periodontal treatment on adipokines in type 2 diabetes	World J Diabetes, 5(6): 924-931, 2015
171	Shimada A, Kobayashi T, Ito S, Okada M, Murasawa A, Nakazono K, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Expression of anti-Porphyrromonas gingivalis peptidylarginine deiminase immunoglobulin G and peptidylarginine deiminase-4 in patients with rheumatoid arthritis and periodontitis	J Periodont Res (in press)
172	Hanai Y, Sugita N, Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Relationships between IL-6 gene polymorphism, low BMD and periodontitis in postmenopausal women.	Arch Oral Biol 60: 533-539, 2015.
173	Kobayashi T, Yokoyama T, Ito S, Kobayashi D, Yamagata A, Okada M, Oofusa K, Narita I, Murasawa A, Nakazono K, Yoshie H	Division of Periodontology, Department of Oral Biological Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Periodontal and Serum Protein Profiles in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Tumor Necrosis Factor Inhibitor Adalimumab.	J Periodontol 85 (11): 1480-1488, 2014.

小計10件

174	Han L, Kodama S, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Evaluation of calcium-releasing and apatite-forming abilities of fast-setting calcium silicate-based endodontic materials.	Int Endo J. 48: 124-130, 2015
175	Ohkura N, Shigetani Y, Yoshida N, Yoshida K, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Prostaglandin transporting protein-mediated prostaglandin E2 transport in lipopolysaccharide-inflamed rat dental pulp.	J Endod 40(8): 1112-1117, 2014.
176	Ohsumi T, Takenaka S, Wakamatsu R, Sakaue Y, Narisawa N, Senpuku H, Ohshima H, Terao Y, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontics, Division of Anatomy and Cell Biology of the Hard Tissue, Division of Microbiology and Infectious Diseases Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Residual Structure of Streptococcus mutans Biofilm following Complete Disinfection Favors Secondary Bacterial Adhesion and Biofilm Re-Development.	PLoS One 30 10(1)
177	Watanabe H, Kazama R, Asai T, Kanaya F, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T, Han L, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Efficiency of the Dual-Cured Resin Cement Polymerization Induced by High-Intensity LED Curing Units Through Ceramic Material.	Oper Dent 40(2): 153-162, 2015
178	Takei E, Shigetani Y, Yoshida K, Hinata G, Yoshida N, Okiji T	Division of Cariology, Operative Dentistry and Endodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences	Initial transient accumulation of M2 macrophage-associated molecule-expressing cells after pulpotomy with mineral trioxide aggregate in rat molars.	1) J Endod 40(12):1983-1988, 2014.
179	Kaku M, Akiba Y, Akiyama K, Akita D, Nishimura M	Division of Bioprosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Cell-based bone regeneration for alveolar ridge augmentation - Cell source, endogenous cell recruitment and immunomodulatory function.	J Prosthodont Res 59(2):96-112, 2015.
180	Kawasaki M, Porntaveetus T, Kawasaki K, Oommen S, Otsuka-Tanaka Y, Hishinuma M, Nomoto T, Maeda T, Takubo K, Suda T, Sharpe PT, Ohazama A	Department of Craniofacial Development and Stem Cell Biology, Dental Institute, King's College London, Guy's Hospital, London Bridge, London, United Kingdom; Division of Bioprosthodontics, Department of Oral Health Science, Course for Oral Life Science, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	R-spondins/Lgrs expression in tooth development.	Dev Dyn. 243(6):844-51, 2014

小計7件

181	Kaku M, Yamauchi M	Division of Bioprosthodontics, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata, Japan.	Mechano-regulation of collagen biosynthesis in periodontal ligament.	J Prosthodont Res 58(4):193-207, 2014.
182	Yoshio Yamaga, Mitsugu Kanatani, Shuichi Nomura	Division of Comprehensive Prosthodontics, Niigata University, Graduate School of Medical and Dental Sciences	Usefulness of a rotation-revolution mixer for mixing powder-liquid reline material.	J Prosthodont Res 59(1): 71-78, 2015
183	Tetsuo Kobayashi	Division of Periodontology, General Dentistry and Clinical Education Unit	Periodontal and Serum Protein Profiles in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Tumor Necrosis Factor Inhibitor Adalimumab	J Periodontol 85(11):1480-1488, 2014.
184	Tetsuo Kobayashi	Division of Periodontology, General Dentistry and Clinical Education Unit	Host Responses in the Link between Periodontitis and Rheumatoid Arthritis.	Curr Oral Health Rep. 2(1): 1-8, 2015.
185	Tazawa R, Inoue Y, Arai T, Takada T, Kasahara Y, Hojo M, Ohkouchi S, Tsuchihashi Y, Yokoba M, Eda R, Nakayama H, Ishii H, Nei T, Morimoto K, Nasuhara Y, Ebina M, Akira M, Ichiwata T, Tatsumi K, Yamaguchi E, Nakata K.	Bioscience Medical Research Center, Niigata University Medical and Dental Hospital	Duration of benefit in patients with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis after inhaled granulocyte-macrophage colony-stimulating factor therapy.	Chest
186	Hashimoto A, Tanaka T, Itoh Y, Yamagata A, Kitamura N, Tazawa R, Nakagaki K, Nakata K.	Bioscience Medical Research Center, Niigata University Medical and Dental Hospital	Low concentrations of recombinant granulocyte macrophage-colony stimulating factor derived from Chinese hamster ovary cells augments long-term bioactivity with delayed clearance in vitro.	Cytokine

小計6件
合計 186
件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	小幡 裕明, 南野 徹	循環器内科	特集 老化からみた循環器疾患 高齢者に対する心臓リハビリテーション	循環器内科 第76巻第3号 2014;279-284.
2	吉田 陽子, 清水 逸平, 南野 徹	循環器内科	糖尿病が心不全にどう影響するのか?	Heart View 2014;382-387.
3	林 由香, 須田 将吉, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	細胞老化と血管老化	Anti-aging Science 2014;37-42.
4	清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	特集/老化からみた循環器疾患 加齢に伴う心血管系の変化	循環器内科 第76巻第3号 2014;229-233.
5	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	第35回 Aging Science	アンチエイジング医学 2014;766-768.
6	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	セマフォリン3Eによる脂肪組織炎症とインスリン抵抗性	Diabetes Journal 2014;193-194.
7	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	内蔵脂肪から分泌される「セマフォリン」が脂肪細胞の老化と炎症を介し、インスリン抵抗性の原因となる	内分泌・糖尿病・代謝内科 2014;490-495.
8	須田 将吉, 林 由香, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	臓器連関と心血管疾患 心臓-脂肪連関	細胞工学 2014;504-507.
9	清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	加齢に伴う心血管系の変化	循環器内科 2014;229-233.
10	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	編集後記	アンチ・エイジング医学 2014;160
11	勝海 悟郎, 南野 徹	循環器内科	機能性食品の循環器疾患におけるエビデンス	Pharma Medica 2014;7-10.
12	南野 徹	循環器内科	綜説老化からみた生活習慣病	新潟医学会雑誌 2014;239-244.
13	南野 徹	循環器内科	編集委員に聞く日本の知恵を探る万物流転	Anti-aging Medicine 2014;103.
14	渡部 裕, 南野 徹	循環器内科	不整脈のゲノム解析と臨床応用	血管医学 2014;89-95.
15	須田 将吉, 南野 徹	循環器内科	複製ストレスは老化した造血幹細胞の機能低下を惹起する	アンチ・エイジング医学-日本抗加齢医学会雑誌 2014;126-128.
16	吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	エイジングサイエンス-海外文献紹介	アンチ・エイジング医学日本抗加齢医学会雑誌 2014;106-108.

小計16件

17	萱森 裕美, 清水 逸平, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	脂肪組織と老化	月刊細胞 2014;22-25.
18	林 由香, 吉田 陽子, 南野 徹	循環器内科	エイジングサイエンス-海外 文献紹介	アンチ・エイジング 医学-日本抗加齢 医学会雑誌 2014;112-115.
19	南野 徹	循環器内科	老化シグナル制御による生 活習慣病治療の開発	上原記念生命科学 財団研究報告集 2014;28:1-7.
20	佐藤 光希, 渡部 裕, 池主 雅臣, 和泉 大輔, 小澤 拓 也, 伊藤 英一, 田辺 恭彦, 相澤 義房, 南野 徹	循環器内科	虚血と不整脈 J波と虚血性 心室細動の関係 冠攣縮狭 心症における検討	心電図 2014;34:118-126.
21	勝海 悟郎, 古嶋 博司, 和 泉 大輔, 大槻 総, 長尾 智 美, 飯嶋 賢一, 佐藤 光希, 小田 雅人, 渡部 裕, 池主 雅臣, 南野 徹	循環器内科	左室基部後壁起源の心室 性期外収縮により心室細動 を繰り返した特発性心室細 動の1例	心臓 2014;46:56- 61.
22	池主 雅臣, 斎藤 修, 奥田 明子	循環器内科	CKD合併心房細動例にお ける抗凝固療法	Cardiocoagulation 2014;1:25-32.
23	林由香, 須田将吉, 吉田陽子, 南野徹.	循環器内科	血圧サーカディアンリズムが 障害される病態とその機序 1.加齢	日本臨床. 2014;72(8):1419- 1423.
24	小幡裕明, 南野徹	循環器内科	特集 心筋症:診断と治療の 進歩 IV. 予後・QOLの改善 を目指す治療法の選択 1. 薬物治療up to date	日本内科学会雑 誌. 2014;103(2):378- 386.
25	蒲澤 秀門	新潟大学 腎・膠原病内科	メタボリックシンドローム関連 腎症における近位尿細管細 胞の形質変化の解析	新潟医学会雑誌 128(8): 381-390, 2014
26	須田 剛士, 青柳 豊	新潟大学大学院消化器 内科学	ぶどうゼリーを用いた超音波 観察下穿刺手技シミュレ ーターの自作とその活用	日本シミュレーシ ョン医療教育学会雑 誌 (2187-9281)2巻 Page63- 68(2014.06)
27	横山 純二, 本田 穰, 竹内 学, 佐藤 祐一, 小林 正明	新潟大学大学院医歯学 総合研究科消化器内科 学分野	カプセル内視鏡にて腸管か らのリンパ液漏出が観察され た腸リンパ管拡張症の2例	ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease (0912-0505)30巻2 号 Page124- 130(2014.11)
28	柳村文寛1)、下畑亨良1)、他 田正義1)、野崎洋明1)、西澤 正豊1) 1)新潟大学脳研究所神経内 科	神経内科	クロイツフェルト・ヤコブ病に おける病名告知、治療の検 討	臨床神経学 54巻4 号 Page298-302, 2014
29	小澤鉄太郎、関谷可奈子、西 澤正豊	神経内科	●総説 多系統委縮症の声 帯外転障害と吸気性喘息: これまでの知見と問題点	自律神経 51巻1号 Page10-17, 2014
30	畠山公大1)、金澤雅人1)、石 原彩子1)、田邊嘉也2)、下畑 孝良1)、西澤正豊1)* *Corresponding author:新潟 大学脳研究所神経内科 新潟大学脳研究所神経内科 2)新潟大学医歯学総合病院 感染管理部	神経内科	頭部MRIで特徴的な液面形 成 (fluid-fluid Level)をみつ めた化膿性脳室炎の2例	臨床神経学 54巻9 号 Page732-737, 2014

小計14件

31	北原真紀子1)、金沢雅人1)、 島山公大1)、柳村文寛1)、坂 上拓郎2)、河内 泉1)、西澤 正豊1)、 1):新潟大学脳研究所神経 内科 2):新潟大学医学部呼吸器 科	神経内科	複視と眼瞼下垂を呈した多 発血管炎性肉芽腫症(ウェ ゲナー肉芽腫症)の1例	BRAIN and NERVE
32	七里佳代	精神医学,保健管理セン ター	気分障害に焦点づけた学生 メンタルヘルス検診の有用 性について.	新潟医学会雑誌 (印刷中)
33	橋本 喜文, 亀山 仁史, 廣瀬 雄己, 八木 亮磨, 中野 麻恵, 佐藤 洋, 木戸 知紀, 市川 寛, 羽入 隆晃, 中野 雅人, 石川 卓, 島田 能史, 小林 隆, 坂田 純, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小 山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	単孔式腹腔鏡手術を行った 高齢者小腸癌の1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page2442- 2443,2014.
34	田中 亮, 亀山 仁史, 中野 麻 恵, 市川 寛, 羽入 隆晃, 中野 雅人, 石川 卓, 島田 能史, 坂 田 純, 小林 隆, 小杉 伸一, 皆川 昌広, 小山 諭, 若井 俊 文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	進行大腸癌の術後補助化 学療法により完全奏効した 早期胃癌の1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page2364- 2366,2014.
35	田村 博史, 亀山 仁史, 峠 弘 治, 白井 賢司, 榎本 剛彦, 渡 邊 直純, 林 達彦, 島田 能史, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	Oxaliplatinアレルギーにより 心肺停止を来した大腸癌多 発肝肺転移の1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page1844- 1845,2014.
36	堀田 真之介, 野上 仁, 中野 麻恵, 中野 雅人, 島田 能史, 亀山 仁史, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	全身化学療法および門脈塞 栓術施行後に治癒切除を 行った直腸癌多発肝転移の 1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page1794- 1795,2014.
37	中野 麻恵, 亀山 仁史, 島田 能史, 橋本 喜文, 細井 愛, 中 野 雅人, 野上 仁, 羽入 隆晃, 滝沢 一泰, 石川 卓, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸 一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	CapeOX+Bevacizumab療法 が著効した下行結腸癌多発 肝転移の1例(原著論文)	癌と化学療法 41巻 12号 Page1785- 1787,2014.
38	亀山 仁史, 島田 能史, 野上 仁, 中野 麻恵, 中野 雅人, 坂 田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 若井 俊 文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	回腸導管に浸潤した局所進 行上行結腸癌に対して治癒 切除を行った1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page1677- 1679,2014.
39	小柳 英人, 亀山 仁史, 野上 仁, 島田 能史, 中野 麻恵, 中 野 雅人, 石川 卓, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸 一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	長期生存を得たVirchowリン パ節、肝、肺転移を伴った 直腸癌の1例	癌と化学療法 41巻 12号 Page1674- 1676,2014.
40	八木 亮磨, 亀山 仁史, 中野 麻恵, 佐藤 洋, 木戸 知紀, 中 野 雅人, 島田 能史, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸 一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	当院における単孔式人工肛 門造設術の検討	癌と化学療法 41巻 12号 Page1643- 1644,2014.
41	仲野 哲矢, 皆川 昌広, 高野 可赴, 滝沢 一泰, 若井 俊文, 高野 徹, 黒崎 功	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	臍頭十二指腸切除後の仮 性動脈瘤出血に対して Stent-Assisted Coilingを施 行した3例	日本腹部救急医学 会雑誌 34巻8号 Page1445- 1449,2014.
42	細井 愛, 野上 仁, 矢島 和人, 亀山 仁史, 若井 俊文, 梅津 哉	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	腹腔鏡補助下に切除した膿 瘍を伴った回腸子宮内膜症 の1例	新潟医学会雑誌 128巻8号 Page391-395,2014.

小計12件

43	若井 俊文, 坂田 純, 田島 陽介, 廣瀬 雄己, 三浦 宏平, 滝沢 一泰, 永橋 昌幸, 亀山 仁史, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	消化器外科手術アトラス 胆嚢癌に対する拡大根治的胆嚢摘出術(Glenn手術変法)	消化器外科 37巻13号 Page1885-1894,2014.
44	皆川 昌広, 滝沢 一泰, 坂田 純, 小林 隆, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【外科看護のキモをコンパクトに解説しました!術前術後ケアさくさく100文字ガイド】胆道に特有の術前術後ケア	消化器外科 Nursing 19巻11号 Page1100-1104,2014.
45	皆川 昌広, 滝沢 一泰, 坂田 純, 小林 隆, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【胆嚢癌手術のすべて-腹腔鏡下から拡大手術まで-】門脈再建を伴う胆嚢癌手術	手術 68巻11号 Page1489-1492,2014.
46	永橋 昌幸, 廣瀬 雄己, 三浦 宏平, 大橋 拓, 丸山 智宏, 滝沢 一泰, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文, 味岡 洋一	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【いわゆる「早期胆嚢癌」に関する問題点を整理する】早期胆嚢癌の病理	胆と膵 35巻9号 Page801-806,2014.
47	須藤 翔, 廣瀬 雄己, 石川 博補, 堅田 朋大, 齊藤 敬太, 滝沢 一泰, 高野 可赴, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	肝内胆管癌との鑑別が困難であった胆管浸潤を伴う大腸癌肝転移の2切除例	新潟医学会雑誌 128巻6号 Page269-275,2014.
48	佐藤 洋, 島田 能史, 亀山 仁史, 野上 仁, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	簡便・確実なリアルタイム超音波ガイド下鎖骨下静脈穿刺法の経験	新潟医学会雑誌 128巻6号 Page264-268,2014.
49	齋藤 敬太, 坂田 純, 廣瀬 雄己, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	先天性胆道拡張症に対する分流手術後23年で発症した膵内遺残胆管癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 75巻7号 Page2014-2018,2014.
50	峠 弘治, 小山 諭, 辰田 久美子, 長谷川 美樹, 坂田 英子, 小林 隆, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	左胸壁から発生した巨大脂肪肉腫の1切除例	癌と化学療法 41巻8号 Page1037-1040,2014.
51	佐藤 優, 矢島 和人, 小杉 伸一, 宗岡 悠介, 市川 寛, 羽入 隆晃, 坂本 薫, 石川 卓, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	p-Stage II、III胃癌に対する術後補助化学療法の現状と問題点	癌と化学療法 41巻8号 Page961-964,2014.
52	廣瀬 雄己, 坂田 純, 大橋 拓, 滝沢 一泰, 新田 正和, 高野 可赴, 小林 隆, 野上 仁, 皆川 昌広, 小杉 伸一, 小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	サイトケラチン7、19陽性肝細胞癌の異時性リンパ節転移再発の1切除例	新潟医学会雑誌 128巻4号 Page177-181,2014.
53	若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	胆嚢癌に対する外科治療	新潟医学会雑誌 128巻4号 Page151-156,2014.
54	仲野 哲矢, 皆川 昌広, 高野 可赴, 廣瀬 雄己, 滝沢 一泰, 小林 隆, 坂田 純, 若井 俊文, 味岡 洋一	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	膵原発Solitary Fibrous Tumorの1例	新潟医学会雑誌 128巻3号 Page121-127,2014.
55	坂田 純, 滝沢 一泰, 高野 可赴, 小林 隆, 皆川 昌広, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【胆道癌外科治療の現況】胆嚢癌の外科治療の現況特に外科切除の限界、至適切除範囲に関して	日本外科学会雑誌 115巻4号 Page185-189,2014.

小計13件

56	小山 諭, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	【非外科治療中がん患者への 栄養療法】化学療法・放射 線療法を受ける患者の栄 養療法に必要な知識 新し い静脈経腸栄養ガイドライン を踏まえて	臨床栄養 125巻1 号 Page21- 27,2014.
57	小山 諭, 中野 雅人, 亀山 仁 史, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	【創傷の予防と治癒のため の栄養療法】創傷ケアにお ける周術期栄養管理の役割	WOC Nursing 2巻 7号 Page52- 59,2014.
58	若井 俊文, 坂田 純, 高野 可 赴, 堅田 朋大, 須藤 翔, 仲野 哲矢, 廣瀬 雄己, 小林 隆, 皆 川 昌広, 味岡 洋一	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	慢性腎不全患者の腹部外 科手術と周術期管理 慢性 腎不全による血液透析患者 における腹部外科手術と周 術期管理	腎と透析 76巻別冊 腎不全外科2014 Page55-58,2014.
59	小山 諭, 亀山 仁史, 若井 俊 文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	【消化器疾患診療支援のため の栄養療法の最先端】短 腸症候群の栄養管理	臨床消化器内科 29巻8号 Page1105- 1110,2014.
60	佐藤 優, 矢島 和人, 小林 和 明, 白井 賢司, 坂本 薫, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	腹腔鏡補助下胃全摘術を施 行した胃限局性若年性ポリ ポースの1例	日本臨床外科学会 雑誌 75巻4号 Page941-945,2014.
61	堅田 朋大, 坂田 純, 仲野 哲 矢, 廣瀬 雄己, 須藤 翔, 高野 可赴, 小林 隆, 皆川 昌広, 若 井 俊文, 味岡 洋一	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	慢性腎不全による血液透析 患者に対する腹部手術症例 の術後成績	新潟医学会雑誌 128巻1号 Page28- 32,2014.
62	加納 陽介, 小杉 伸一, 神田 達夫, 矢島 和人, 鈴木 力, 若 井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	手術手技 経裂孔的アプ ローチによる下縦隔郭清と 下部食道切除再建術	手術 68巻5号 Page723-727,2014.
63	大橋 拓, 若井 俊文, 廣瀬 雄 己, 斎藤 敬太, 丸山 智宏, 滝 沢 一泰, 高野 可赴, 坂田 純, 小林 隆, 皆川 昌広, 塩路 和 彦	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	【胆道癌として外科切除され た鑑別困難病変の検証-画像 と病理所見の対比-】肝 内・肝門部胆管癌と鑑別困 難な良性胆管狭窄病変 臨 床病理学的検討とそれに基づ く治療方針	胆と膵 35巻3号 Page241-245,2014.
64	岡部 康之, 矢島 和人, 石川 卓, 小杉 伸一, 坂本 薫, 佐藤 優, 神田 達夫, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	S-1+CDDPによる術前化学 療法中に穿孔した高度進行 胃癌の緊急胃切除の1例	癌と化学療法 41巻 1号 Page95- 98,2014.
65	細井 愛, 黒崎 功, 高野 可赴, 皆川 昌広, 岩淵 三哉, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	原発性多発十二指腸癌を含 む異時性4重複癌の1例	日本臨床外科学会 雑誌 75巻1号 Page250-254,2014.
66	島田 能史, 味岡 洋一, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	大腸癌の最新治療-治癒に 向けた最先端研究-】臨床 研究 診断 微小転移の検 出	日本臨床 72巻1号 Page89-94,2014.
67	須藤 翔, 亀山 仁史, 中野 雅 人, 島田 能史, 野上 仁, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	単孔式腹腔鏡補助下に切 除した狭窄型虚血性小腸炎 の1例	新潟医学会雑誌 129巻1号 Page38- 44,2015.
68	須藤 翔, 小林 隆, 廣瀬 雄己, 堅田 朋大, 滝沢 一泰, 若井 俊文	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	心肺停止状態から救命し得 た上部消化管造影検査後 大腸穿孔によるバリウム腹膜 炎の1例	日本腹部救急医学 会雑誌 35巻1号 Page119-124,2015.
69	木戸 知紀, 島田 能史, 中野 麻恵, 中野 雅人, 亀山 仁史, 野上 仁, 若井 俊文, 岩淵 三 哉	新潟大学大学院医歯学 総合研究科 消化器・一般 外科学分野	同一病巣内に神経内分泌 腫瘍と腺癌の成分を認めた 径8mmの直腸腫瘍の1例	日本大腸肛門病学 会雑誌 68巻1号 Page55-59,2015.

小計14件

70	坂田 純, 若井 俊文, 皆川 昌広, 小林 隆, 滝沢 一泰, 三浦 宏平, 岡部 康之, 廣瀬 雄己, 永橋 昌幸, 亀山 仁史, 小杉 伸一, 小山 諭	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【進展度に応じた胆嚢癌の治療戦略】リンパ節転移からみた胆嚢癌の治療成績	胆と膵 36巻1号 Page55-59,2015.
71	坂田 純, 若井 俊文, 皆川 昌広, 小林 隆, 滝沢 一泰, 三浦 宏平, 岡部 康之, 廣瀬 雄己, 永橋 昌幸, 亀山 仁史, 小杉 伸一, 小山 諭	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	【胆道癌外科切除 再発防止のストラテジー】術中戦略リンパ節郭清範囲 胆嚢癌	臨床外科 70巻1号 Page68-72,2015.
72	小山 諭	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	乳癌の手術療法	新潟医学会雑誌 128巻8号 Page343-351,2014.
73	滝沢 一泰	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	浸潤性膵管癌における簇出と臨床病理学的因子および予後との関連	新潟医学会雑誌 128巻5号 Page216-226,2014.
74	木戸 知紀	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	大腸癌におけるS-100免疫組織化学により診断される神経侵襲の臨床的意義	新潟医学会雑誌 128巻4号 Page167-176,2014.
75	伏木 麻恵	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	潰瘍性大腸炎に合併する大腸腫瘍におけるサーベイランス内視鏡検査の臨床的意義	新潟医学会雑誌 128巻2号 Page75-82,2014.
76	辰田 久美子	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野	乳癌センチネルリンパ節転移と臨床病理学因子およびKi-67標識率との関連	新潟医学会雑誌 128巻5号 Page205-215,2014.
77	白石 修一, 高橋 昌, 渡邊 マヤ, 杉本 愛, 土田 正則	心臓血管外科	両側肺動脈絞扼術後に根治手術(大動脈弓再建+動脈スイッチ手術+心室内血流路作成)を施行した両大血管右室起始・大動脈弓離断症の1例	日本心臓血管外科学会雑誌 43(5): 265-269, 2014
78	白石 修一, 高橋 昌, 渡邊 マヤ, 杉本 愛, 土田 正則	心臓血管外科	Posterior TGA型両大血管右室起始症に対する動脈スイッチ術(Jatene原法)と心室内血流路作成の1例	日本心臓血管外科学会雑誌 44(1): 21-24, 2015.1月
79	遠藤直人	整形外科	原発性骨粗鬆症に対する治療薬剤の種類と特徴	整形外科 65: 738-743, 2014
80	生越 章, 堀田哲夫, 川島寛之, 佐々木太郎, 山岸哲郎, 遠藤直人, 守田哲郎, 有泉高志, 梶野宏史	整形外科	悪性末梢神経鞘腫瘍を発症した神経線維腫症1型症例における化学療法の効果と予後	日本レックリングハウゼン病学会雑誌 5: 64-68, 2014
81	平野 徹, 渡辺 慶, 勝見敬一, 遠藤直人, 山崎昭義	整形外科	脊椎椎体骨折偽関節例の治療	整形外科 65: 147-153, 2014
82	今井教雄, 伊藤知之, 高橋康人, 須田 健, 宮坂 大, 湊泉, 遠藤直人	整形外科	変形性股関節症に対する人工股関節全置換術後の骨盤傾斜および股関節回旋の変化	整形外科 65 人工関節置換術-最新の知見
83	近藤直樹, 藤沢純一, 金井朋毅, 遠藤直人	整形外科	外傷を契機として生じた両側破壊性肘関節症の1例	新潟整形外科研究会誌 30: 155-162, 2014

小計14件

84	近藤直樹、松井利浩、西野仁樹、小宮明子、當間重人、遠藤直人	整形外科	関節リウマチ例における手術期の好中球上CD64の推移の検討	別冊整形外科65 : 56-59,2014
85	近藤直樹、藤沢純一、荒井勝光、遠藤直人	整形外科	ミノサイクリンが有効であった関節リウマチの1例	新潟整形外科研究会誌 30: 51-54, 2014
86	松田 健、垣淵正男	形成・美容外科	ループ型神経移植を利用した顔面神経再建	PEPARS 顔面神経麻痺の治療update NO. 92 : 7-12, 2014
87	松田 健、柴田 実、松代直樹	形成・美容外科	頭髪生え際皮膚切除による眉毛挙上術	Facial Nerve Research Japan 34(1) : 126- 128, 2014
88	柴田 実、松田 健	形成・美容外科	末梢神経損傷の治療	Peripheral Nerve 25(2): 272-278, 2014
89	若槻華子、太田勝哉、齋藤八十、山口賢次、森野一真	形成・美容外科	巨大乳腺葉状腫瘍の治療経験 A Case of Giant Phyllodes Tumor of the Breast	日本形成外科学会誌 34 (3):202-208,2014
90	宮田昌幸、飛澤泰友、高野敏郎、坂村律生、柴田 実	形成・美容外科	口唇口蓋裂二次修正術における肋軟骨移植による鼻形成術	日本頭蓋顎顔面外科学会誌 30(3) : 126-138, 2014
91	宮田昌幸、柴田 実、朝日藤寿一	形成・美容外科	Furlow法による口蓋裂初回形成術-裂幅の広い場合のコツと留意点	PEPARS, No.96, pp. 19-24. 2014
92	倉部聡、藤井幸彦	新潟大学脳研究所脳神経外科	fMRIを用いた求心路遮断下に生じる感覚運動野皮質活動の急性変化についての検討	新潟医学会雑誌 128(10): 510-514, 2014.
93	小原健司、新井 啓、原 昇、星井達彦、小松集一、瀧澤逸大、安藤 嵩、秋山 さや香、筒井寿基、高橋公太、	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	尿道下裂手術 そのゴールは？自然な外観を目指して	泌尿器外科27(臨増) :673-676,2014.
94	石川晶子、田崎正行、今井直史、池田正博、笠原 隆、関島光裕、富田祐介、中川由紀、齋藤和英、西山 勉、高橋公太	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	生体腎移植後に発症した移植腎内リンパ嚢胞に対し、腹腔鏡下腎嚢胞開窓術を施行した1例	日本泌尿器科学会雑誌 105(3)別刷:139-143, 2014.
95	高橋公太	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	退任特別講演 ABO血液型不適合腎移植への挑戦	新潟医学会雑誌 128(11) :547-565, 2014.
96	西山 勉	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	前立腺癌:アンドロゲン抑制療法のパラダイムシフト	泌尿器外科 27 (臨増) :735-738, 2014.
97	西山 勉	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	去勢抵抗性前立腺癌今後の治療戦略 前立腺癌細胞内の新規アンドロゲン代謝系路からみた今後のアンドロゲン抑制療法	泌尿器外科 27 (臨増) :589-591, 2014.
98	齋藤和英・中川由紀・田崎正行・池田正博・高橋公太・秋山政人	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	献腎移植への道のり -臓器移植法案改定後-わが国におけるNon Heart Beating Donor (NHBD)からの献腎移植	泌尿器外科 27 (臨増) :609-611, 2014.

小計15件

99	高橋公太	新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野	わが国の腎移植の現況と今後の展開	泌尿器外科 27 (臨増):557-559, 2014.
100	寺島 浩子,長谷部 日,福島淳志,佐々木 亮,松岡 尚気,高田 律子,佐藤 弥生,上田恵理子,福地 健郎	新潟大学医歯学総合病院 眼科	黄斑剥離を伴う裂孔原性網膜剥離の長期視力予後	眼科手術 27 (1):112-117,2014.
101	尾山 徳秀,張 大行,大湊 絢,福地 健郎	新潟大学医歯学総合病院 眼科	眼窩壁骨折の硬性再建に対する固定孔なしシート状吸収性プレート(LactoSorb®)の使用経験	日本形成外科学会雑誌 34(10):726-735,2014
102	森田由香,山本 裕,大島伸介,高橋邦行,根本美歌,桑原優子,高橋 姿	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	弛緩部型真珠腫と緊張部型真珠腫(第2報)-当科における術式選択と治療成績	Otology Japan. 181-187 2014
103	吉田 尚弘,岸部 幹,立山香織,岡田 昌浩,坂口 博史,長谷川 賢作,松井 隆道,森田 由香,村上 信五	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	ANCA関連血管炎性中耳炎90症例の臨床像-ANCA関連血管炎性中耳炎全国調査ワーキンググループ中間報告-	Otology Japan 24 (1)53-612014
104	正道隆介,太田久幸,山崎恵介,松山 洋,高橋 姿	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	頭頸部領域に生じた高分化型脂肪肉腫の3例	頭頸部癌40(1) 75-80 2014
105	馬場洋徳,相澤直孝,土屋昭夫	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科	特徴的な画像,病理所見を呈した口腔底表皮嚢腫の症例	口腔科27(2)179-183 2014
106	高桑好一,能仲太郎,富永麻理恵,茅原 誠,加嶋克則,榎本隆之	産科婦人科	産婦人科における漢方の理論と実践 8. 不妊症・不育症に対する漢方	産科と婦人科 81,1341-1346
107	生野寿史,山口雅幸,芹川武大,和田雅樹,榎本隆之,高桑好一	産科婦人科	常染色体劣性多発性嚢胞腎が疑われた出生前診断症例に関する検討	日本遺伝カウンセリング学会誌 35, 117-120
108	高桑好一,能仲太郎	産科婦人科	自己免疫異常合併不育症症例に対する漢方療法の実際	産婦人科漢方研究のあゆみ 31, 9-16
109	高桑好一,能仲太郎,高橋真紀子,山岸葉子,吉田邦彦,生野寿史,山口雅幸,榎本隆之	産科婦人科	現代漢方の基礎知識 不育症・不妊症	産婦人科の実際 63, 363-371
110	高桑好一	産科婦人科	第66回日本産科婦人科学会 生涯研修プログラム クリニカルカンファレンス3 Subspecialityを越えて(周産期・腫瘍)2 産婦人科良性腫瘍・悪性腫瘍治療後の周産期管理	日本産科婦人科学会雑誌 66, 2094-2097
111	高桑好一	産科婦人科	第78回日本泌尿器科学会 東部総会記録集 よくわかるシリーズ 6よくわかる不妊治療	泌尿器外科 27, 733-734
112	富永麻理恵,生野寿史,佐藤ひとみ,芹川武大,和田雅樹,高桑好一,茂呂 寛,吉田邦彦,金子孝之	産科婦人科	HIV感染合併双胎妊娠の管理経験	新潟産科婦人科学会誌 109, 29-32

小計14件

113	鈴木美保、山口雅幸、島 英理、富永麻理恵、松本賢典、田村 亮、佐藤ひとみ、能仲太郎、榎本隆之、生野寿史、高桑好一	産科婦人科	妊娠26週未満破水症例の後方視的検討	新潟産科婦人科学会誌 109, 79-84
114	高桑好一、能仲太郎、佐藤ひとみ、生野寿史、山口雅幸、榎本隆之	産科婦人科	重篤な疾患を合併する妊産婦の管理 腎不全、透析中の妊娠	周産期医学 44, 1177-1179
115	西野幸治、榎本隆之	産科婦人科	CA125再発と画像再発の診断差は何ヶ月くらいですか？	婦人科癌診療Q&A 一つ上をいく診療の実践 216-218
116	西野幸治、榎本隆之	産科婦人科	卵巣がんの再発例への化学療法 プラチナ感受性	産婦人科処方ofのすべて すぐに使える実践ガイド 臨床婦人科増刊号 68, 198-200
117	西野幸治、榎本隆之	産科婦人科	卵巣がんの再発例への化学療法 プラチナ抵抗性	産婦人科処方ofのすべて すぐに使える実践ガイド 臨床婦人科増刊号 68, 201-203
118	加嶋克則、西野幸治、榎本隆之	産科婦人科	再発卵巣癌に対する手術の適応と実際	産婦人科の実際 63, 925-931
119	吉原弘祐、榎本隆之	産科婦人科	婦人科がんのトランスクリプトーム解析	産科と婦人科 81, 726-731
120	松本賢典、磯部真倫、加嶋克則、榎本隆之	産科婦人科	淋菌性腹膜炎で麻痺性イレウスを呈した1例	新潟産科婦人科学会誌 109, 72-74
121	山本豪、渡部達範、藤原貴、持田崇、渡邊逸平、河野達郎	麻酔科学分野	腹部大動脈瘤切除術に対する18G留置針と低濃度リドカイン用いた反復肋骨弓下腹横筋膜面ブロックの経験	麻酔 63(8):866-71, 2014
122	江村美紗、石井秀明、馬場洋	麻酔科	先天性筋無力症候群の側彎症手術の麻酔	麻酔 63(8):911-14, 2014
123	倉部美起、大橋宣子、山本豪、古谷健太、大橋正幸、紙谷義孝、馬場洋、河野達郎	麻酔科学分野	静脈投与したリドカインの脊髄後角におけるシナプス伝達に対する作用	脊髄機能診断学 35(1):46-51, 2014
124	大橋宣子、佐々木美佳、山本豪、倉部美起、古谷健太、大橋正幸、紙谷義孝、馬場洋、河野達郎	麻酔科学分野	トラネキサム酸の脊髄後角における抑制性シナプス伝達に対する作用	脊髄機能診断学 35(1):52-57, 2014
125	山本豪、生駒美穂、佐々木美佳、大橋宣子、倉部美起、古谷健太、紙谷義孝、馬場洋、河野達郎	麻酔科学分野	硫酸デヒドロエピアンドロステロンの脊髄後角における痛覚伝達への作用	脊髄機能診断学 35(1):58-64, 2014
126	紙谷義孝	麻酔科	髄セロトニン、 α アドレナリン受容体のgabapentin鎮痛に及ぼす影響	日本運動器疼痛学会誌 6:144-9, 2014
127	長谷部大地、小林正治、齋藤大輔、小田陽平、高野正行、笠原清弘、須賀 賢一郎、片倉 朗、高野伸夫、齊藤 力	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	ハイドロキシアパタイト粒子とポリ-L-乳酸の複合体からなる骨接合材を用いた顎矯正手術後の顎骨安定性の検討。	日顎変形学会誌 24(3): 225-232, 2014.

小計15件

128	小林正治	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	骨格性II級症例に対する外科的矯正治療 - 顎矯正手術の適用術式と留意点 - .	日顎変形会誌 24(4): 361-367, 2014.
129	倉部華奈, 芳澤享子, 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 小林正治	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	頸部壊死性筋膜炎の一例.	新潟歯会誌 44(2): 107-112, 2014.
130	上杉崇史, 小林正治, 高田佳之, 長谷部大地, 三上俊彦, 齊藤 力	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	新潟大学医歯学総合病院 口腔外科いびき外来受診患者の臨床統計.	日口腔科会誌 63(3): 251-259, 2014.
131	船山昭典, 新垣 晋, 加納浩之, 林 孝文, 朔 敬, 齊藤 力	新潟大学 大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野	下顎骨に発症したサルコイドーシスの1例.	日口腔外会誌 60(6): 348-353, 2014.
132	安樂純子, 飯田明彦, 大西眞, 櫻井克也, 田辺啓太, 高木律男	新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野	構音障害と睡眠時無呼吸を合併した巨大な舌下型類表皮嚢胞の1例	日口外誌 60(10): 587-591頁, 2014.
133	黒川 亮, 児玉泰光, 嵐山貴徳, 大貫尚志, 高木律男	新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野	トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠の関与が疑われたMallory-Weiss症候群の1例	日有病者歯誌 23(2): 84-89頁, 2014.
134	永井孝宏, 児玉泰光, 黒川亮, 山田瑛子, 村山正晃, 池野 良, 田邊嘉也, 高木律男	新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野	新潟大学医歯学総合病院 歯科におけるHIV感染症患者の臨床的検討.	日本エイズ学会誌 16(3): 148-154頁, 2014.
135	田中 裕, 村松公美子, 村松芳幸, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 櫻井浩治, 瀬尾憲司, 宮岡等	新潟大学医歯学総合病院 歯科麻酔科	精神疾患簡易構造化面接法the M.I.N.I-International Neuropsychiatric Interview を用いた口腔顔面痛患者の初診時の精神医学的診断の試み	新潟青陵大学大学院臨床心理学研究, 7, 29-34, 2014.
136	田中 裕, 倉田行伸, 齊藤陽子, 照光 真, 弦巻 立, 瀬尾憲司	新潟大学医歯学総合病院 歯科麻酔科	急性心不全発作を頻発する小児のたこつぼ型心筋症患者の歯科治療時の全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌, 42(3), 303-304, 2014.
137	弦巻 立, 照光 真, 山田友里恵, 山崎麻衣子, 金丸博子, 吉川博之, 倉田行伸, 田中 裕, 瀬尾憲司	新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野	術後せん妄対策として抑肝散を予防投与した1例	日本歯科麻酔学会雑誌, 42(5), 636-637, 2014.
138	平原三貴子, 吉川博之, 金丸博子, 瀬尾憲司	新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野	高用量オピオイドの持続投与により疼痛管理されていた口腔癌患者の全身麻酔管理経験	日本歯科麻酔学会雑誌, 43(1), 54-56, 2015.
139	照光 真, 瀬尾 憲司, 松澤等, 稲田 有史, 中村 達雄, 茂野 啓示	新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科麻酔学分野	人工神経管PGA-C tubeによるヒト三叉神経損傷後の再生に対するMRIを用いた形態学的検討	Peripheral Nerve 2014, 25(2), 323.
140	村山直子, 松山順子, 三富智恵, 坂井(林)幸子, 河野(木下)承子, 佐野富子	新潟大学医歯学総合研究科小児歯科学分野	一口量の違いが嚥下までの咀嚼回数および嚥下直前の食塊粒子分布に及ぼす影響	日本咀嚼学会雑誌 24(1): 12-20, 2014.
141	小原彰浩, 西野和臣, 焼田裕里, 越知佳奈子, 寺田員人, 齊藤 力, 齋藤 功	医歯学総合病院矯正歯科	CBCT 頭蓋顎顔面硬軟組織三次元データと歯列模型三次元データ統合モデルの開発.	日顎変形誌, 24(3): 218-224, 2014.

小計14件

142	興地隆史	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野	高齢者の歯内療法の考え方と実際.	日歯医師会誌 67:6-15, 2014
143	吉羽永子	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野	ミニレビュー 歯の発生および歯髄創傷治癒・再生過程における細胞外マトリックスの多様性.	日歯保存誌 57(5): 385-387, 2014.
144	韓臨麟, 興地隆史	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野	S-PRG フィラーの抽出液の人工脱灰象牙質に対する象牙細管封鎖効.	日本歯科保存誌 58(1):17-25, 2015
145	金子友厚	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野	幹細胞を用いた歯髄組織再生におけるマクロファージ様細胞について.	日本歯内療法学会 雑誌 36(1): 13-16, 2015.
146	13) 大墨竜也, 竹中彰治, 坂上雄樹, 若松里佳, 寺尾豊, 大島勇人, 興地隆史	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野、硬組織形態学、微生物感染症学	Streptococcus mutans バイオフィルムに対するリステリナ チュラルケアの浸透性と殺菌効果の評価.	日歯周誌 56: 291- 301, 2014.
147	大倉直人	新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野	ラット炎症歯髄に対する薬物輸送担体を介した Prostaglandin E2 輸送経路解析.	新潟市学会雑誌 44(2): 49-50, 2014.
148	秋葉陽介, 江口香里, Rashid MD Mamunur, 加来 賢, 秋葉奈美, 魚島勝美	新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野	ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDACi) を用いたエピジェネティクス制御による細胞分化制御を利用した新規骨増成法に関する研究.	日歯医学会誌33: 44-48, 2014
149	長澤麻沙子	新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野	上顎無歯顎に対してインプラントオーバーデンチャーによる咬合と審美性を回復した症例.	日本補綴歯科学会 誌 第7巻第2号: 193-196, 2015
150	堀田哲夫	手術部	近代手術室建築が抱える問題とその解決策	新医療 420: 108- 111, 2014.
151	塚口真穂登, 笹原浩康, 杉山健太郎, 磯貝和也, 外山聡, 佐藤博, 齋藤和英, 中川由紀, 高橋公太, 田中祥子, 恩田健二, 平野俊彦	新潟大学医歯学総合病院薬剤部	末梢リンパ球の免疫抑制薬感受性試験におけるIC50値とボトム値の関連	Organ Biology 21(2): 260-264, 2014

小計10件
合計 151
件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学官連携活動を含む社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の産学官連携活動等の推進を図る。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 外部から講師を招聘し、院内職員を対象に「臨床倫理の基礎と課題」と題した講演会を実施した。	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の関連医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、関連医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

2 研修の実績

研修医の人数	86人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
南野 徹	循環器内科	教授	25年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	24年	
	血液内科		年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	31年	
	呼吸器・感染症内科		年	
	診療内科		年	
西澤正豊	神経内科	教授	38年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	30年	
染矢俊幸	精神科	教授	31年	
齋藤昭彦	小児科	教授	23年	
若井俊文	消化器外科	教授	22年	
	乳腺・内分泌外科		年	
土田正則	心臓血管外科	教授	29年	
	呼吸器外科		年	
遠藤直人	整形外科	教授	34年	
窪田正幸	小児外科	教授	年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	31年	
福地健郎	眼科	教授	29年	
榎本隆之	産科婦人科	教授	31年	
青山英史	放射線治療科	教授	20年	
	放射線診断科			
馬場 洋	麻酔科	教授	26年	
遠藤 裕	高次救命災害治療センター	教授	35年	
遠藤直人	総合リハビリテーション	教授	34年	
味岡洋一	病理部	教授	30年	
成田一衛	血液浄化療法部	教授	31年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容，研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して別紙「平成26年度キャリア開発支援計画研修」を参照。（対象研修：専門領域シリーズ等）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容，研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して別紙「平成26年度キャリア開発支援計画研修」を参照。（対象研修：基礎研修及び役割研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

研修名	受講対象者	ねらい	講師・研修担当	開催年月日	参加人数	
新採用者オリエンテーション	新採用者	院内諸規定を理解し、配置された職場へ適応できる	看護部	4/1(火)	81	
労働安全衛生教育		労働者の安全衛生に関する知識を習得できる	健康管理センター産業医	4/3(木)	81	
感染管理 1		看護実践に必要な基本的知識・技術を習得できる	看護実践に必要な基本的知識・技術を習得できる	感染管理認定看護師	4/1(火)	81
安全管理 1				安全管理部GRM 看護安全管理委員会	4/3(木)	81
看護記録 1				看護情報委員会	4/4(金)	81
接遇 (院内研修)				外部講師	4/7(月)	81
口腔ケア 1				歯科外来看護師	5/9(金)	73
褥瘡ケア 1				皮膚・排泄ケア認定看護師 看護部褥瘡対策チーム	4/3(木)	73
コミュニケーション				新人支援研修委員会	①7/5(土) ②10/10(木)or10/25(木)	81
臨床技術トレーニングプログラム ステップI~III				看護職キャリア開発コアカンサー	①7月 ②12月	74
臨床実践能力セルフ・モニタリングプログラム(SMP) 3か月・6か月				①7月 ②12月	74	
看護記録 2				看護情報委員会	7/5(土)	74
救急医療		BLS・AEDの知識・技術を習得できる	高次救命救急センター・集中治療部看護師 BLS研修担当者	74		
フィジカルアセスメント		基礎観察能力、および患者状態が変化した時の対応を習得できる	新人担当専任看護師	7/10(木)	2年目対象：1/29(木) 3.5時間	72
急変時の看護						
看護倫理		看護者の倫理綱領に基づき看護倫理について考えることができる	リーダー育成研修委員会	10/14	同じ内容で年間2回開催 or 11/7 15:00~16:45	52
安全管理 2		看護実践に必要な知識・技術を習得できる	看護安全管理委員会	8/5	同じ内容で年間2回開催 or 8/19 15:00~16:45	52
感染管理 2	感染管理認定看護師		10/25(土)	3時間	52	
事例検討	看護研究支援委員会		①：6/21(土) 3時間 ②：10/25(土) 3時間	54		
リーダーシップ(基礎編)	レベルII	リーダーシップの基本を習得できる	リーダー育成研修委員会	同じ内容で年間2回開催 7/7 or 2/10 14:00~16:45	33	
リーダーシップ(実践編)	レベルIII	部署の目標管理においてリーダーシップを発揮できる	リーダー育成研修委員会	① 5/2 14:00~16:45 ② 9/9 14:00~16:45 ③ 2/24 14:00~16:45	20	
プリセプターシップ(基礎編)	レベルII	プリセプターシップを理解できる	新人支援研修委員会	同じ内容で年間2回開催 2/6 or 2/20 13:00~16:45	49	
プリセプターシップ(実践編)	レベルII	プリセプターシップを理解し、役割機能を遂行できる	新人支援研修委員会	① 6/6 or 6/11 15:00~16:45 ② 11/5 or 11/21 15:00~16:45 ③ 3/20 15:30~16:45 次年度オリ：H27.3/11 17:00~	64	
組織感覚	レベルIII	組織の一員として果たす役割を理解できる	看護部教育委員会	7/ or 10/ 同じ内容で年間2回開催 15:30~16:45	37	
キャリアデザイン	レベルII~ レベルIV	自己に気づき、今後の自身の目標を設定できる 自らを見つめ直し、将来の自己イメージを確立できる	外部講師	レベルII~III対象 0.5日 7~12月 レベルIV対象 6h 7~12月	II66 III30 IV15	
看護管理	看護師長 副看護師長	看護管理者としての役割を遂行できる	外部講師	副看護師長対象 / (土) or / (土) 看護師長対象 ①/ (土) ②/ (土)	副師長 76師長 32	
教育担当者研修	教育担当者 (スタッフ)	現任教育において能力を発揮できる	外部講師・看護部教育委員会	(① 3/14) ② 8/20 ③ 11/17	①35② 35③28	
2年目サポーター研修	2年目サポーター	2年目サポーターとして役割を遂行できる	看護部教育委員会	① 3/24 ②9/19 次年度オリ：H27.3/	①38② 29③43	
看護記録	看護情報係	情報管理において能力を発揮できる	看護情報委員会	年に数回予定	各50	
褥瘡ケア	褥瘡担当者	褥瘡ケアにおいて能力を発揮できる	看護部褥瘡対策チーム	年に数回予定	各22	
栄養サポート	NST担当者	栄養サポートにおいて能力を発揮できる	看護部NST	年に数回予定	各21	
感染管理	ICM	感染管理において能力を発揮できる	看護感染管理委員会	年に数回予定	各30	
安全管理	安全管理担当者	安全管理において能力を発揮できる	看護安全管理委員会	年に数回予定	各29	
退院支援	退院支援担当者	退院支援において能力を発揮できる	看護部地域保健医療推進部会	年に数回予定	各24	
実習指導	実習指導者 (スタッフ)	実習指導において能力を発揮できる	看護部臨床実習委員会	①5/14 ② 9/2 ③3/3 15:00~16:45	各31	
専門領域 シリーズ	院内認定看護師コース 感染管理	レベルIII以上	感染管理に関する専門的知識・技術を習得し、水準の高い実践およびスタッフ指導ができる	感染管理認定看護師	8月~H27年2月	4
	院内認定看護師コース スキンケア	レベルIII以上	スキンケアに関する専門的知識・技術を習得し、水準の高い実践およびスタッフ指導ができる	皮膚・排泄ケア認定看護師	8月~H27年1月	2
	感染管理	レベルIII以上	感染管理に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	感染管理認定看護師	①5/20 ② 6/11 ③7/15 ④8/19 ⑤9/16 ⑥10/21 ⑦11/18 ⑧12/16 ⑨1/20 ⑩2/17	14
	スキンケア	レベルIII以上	スキンケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	皮膚・排泄ケア認定看護師	①6/3 ②7/1 ③8/5 ④9/2 ⑤10/7 ⑥11/4 ⑦12/2 ⑧1/6	22
	呼吸ケア	レベルIII以上	呼吸ケアに関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	集中ケア・慢性呼吸器疾患看護認定看護師	①5/13 ②6/10 ③7/8 ④8/12 ⑤9/9 ⑥10/14 ⑦11/11 ⑧12/9 ⑨1/13 ⑩2/10	12
	がん化学療法看護	レベルIII以上	がん化学療法に関する専門的知識・技術を習得し、実践およびスタッフ指導ができる	がん化学療法看護認定看護師	①6/18 ②7/16 ③8/20 ④9/17 ⑤10/15 ⑥11/19 ⑦12/17 ⑧1/21	19
	糖尿病ケア-基礎コース-	レベルII以上	糖尿病療養指導に必要な知識と技術を習得し看護実践に活用できる	院内糖尿病療養指導士の会メンバー 慢性疾患看護専門看護師 他	①6/4 ②7/2 ③8/6 ④9/3 ⑤10/1 ⑥11/5 ⑦12/3	29
	緩和ケア	レベルII以上	緩和ケアについての知識を習得し看護実践に活用できる	緩和ケア認定看護師	①5/28 ②6/25 ③7/23 ④8/27 ⑤9/24 ⑥10/22 ⑦11/26 ⑧12/24 ⑨1/28	22
専門領域・ テーマ別 研修	看護研究	全員	臨床実践に直結する看護研究ができる	看護研究支援委員会	①発表会 11/10・11/28・12/8 17:15~ ②説明会 H27.2/23 17:00~18:00	① 194・ 249・ 243 ②29
	看護倫理	レベルIII以上	看護倫理についての知識を深め実践に活用できる	リーダー育成研修委員会	12/9 17:00~18:30	①19② 70
	救急・急変時の看護	全員	急変時や重症患者の看護について学び看護実践に活用できる	(高次救命災害治療センター・集中治療部) (BLS研修担当)	(院内BLS研修)	81
	専門領域最新情報 (up to-date)	入職5年以上相 当	専門領域における最新知識を習得し、看護実践に活用できる	各専門領域 認定看護師・専門看護師	年に数回予定	93
	褥瘡ケア	全員	褥瘡ケアに関する知識・技術を習得し看護実践に活用できる	皮膚・排泄ケア認定看護師 看護部褥瘡対策チーム	年に数回予定	80
	ストーマケア	全員	ストーマケアに関する知識・技術を習得し看護実践に活用できる	ストーマケア担当看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師	年に数回予定	①32② 11
	口腔ケア	全員	口腔ケアについて学び看護実践に活用できる	歯科外来看護師	年に1回予定	22
	糖尿病療養指導	全員	糖尿病療養指導について学び看護実践に活用できる	院内糖尿病療養指導士の会	年に数回予定	51
	呼吸ケア	全員	呼吸ケアについて学び看護実践に活用できる	呼吸療法認定士の会	年に数回予定	18
	報告会	全員	受講内容の共有化により、知識を深め看護実践に活用できる	看護部教育委員会	2015/2/12(木)	74
	報告会	全員	受講内容の共有化により、知識を深め看護実践に活用できる	看護部教育委員会	3/18(水)	44
	報告会	全員	受講内容の共有化により、知識を深め看護実践に活用できる	看護部教育委員会	3/27(金) 17:15~18:15	44

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 吉澤初記

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室、フィルム管理室、電算機室 (歯) 医事課事務室	外来・・・1患者1カルテ番号方式 入院・・・1患者1入院につき1カルテ方式 外来…平成23年1月以降電子媒体 入院…電子媒体（一部紙媒体） ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており、やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保健推進部	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	各所掌部門において管理
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第二十三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部門
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一	
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 江口正樹	
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室	
閲覧の手続の概要		
様式第5の保管場所・管理方法による。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理に関する基本的な考え方2. 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本的事項3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6. 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針7. 患者からの相談への対応に関する基本方針8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療事故の防止対策に関すること・ 医療事故の防止に係る教育および研修に関すること・ 医療事故の防止マニュアルに関すること、他	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「本院のインシデント・医療事故の現状」, 「当院のTeam STEPPS ロールプレイ型研修の紹介」 「医薬品の安全管理」, 「除細動器で起こりうるトラブルとその対応」, 「医歯学総合病院の目指すべき方向」2. 「Team STEPPSを活用したノンテクカルスキル向上策」3. 「家庭内暴力への院内対応 -医療従事者に今何が求められているのか-」4. 「Team STEPPS演習型実技研修」5. 「院内暴言暴力対応訓練(状況設定ロールプレイ)」 「職員の暴力回避トレーニング(実技演習)」6. 「本院の医療安全管理体制について」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集・ 医療事故事例の医療安全推進委員会での報告, 改善策の立案と実施, 改善状況の検証・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備・ 院内死亡事例の全例チェックおよび検討・ 医療事例審議委員会, (調査専門委員会)における事例分析, 再発防止の検討, 他	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（4）名 兼任（27）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため、医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 ・ 医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供 ・ 医療の安全管理に係る教育と研修，部署リスクマネージャーとの連携 ・ 医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認 ・ 医療に係る安全管理のための委員会（医療安全推進委員会）の運営 ・ 医療安全管理ラウンドによるインシデント事例の再発防止策の実施状況等の確認，他 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④・無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染に関する基本的な考え方2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針7. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること・ 院内感染の予防対策に関すること・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること・ その他院内感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 「アンチバイオグラム（抗菌薬感受性率）って何？」，「敗血症と手指衛生」，「TDM検討会の活動状況について」，「何が違うの？標準予防策と接触予防策」2. 「結核の現状と感染対策 一般病院でどう防ぐ？」3. 「抗菌療法の考え方と当院の菌血症の現状とその対応」4. 「本院の感染管理体制について」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 耐性菌，人工呼吸器関連肺炎，中心ライン関連ライン血流感染，消化器外科及び心臓血管外科 SSI，手指消毒薬の払い出し状況，抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション）・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し，迅速な感染防止対策を実施・ 院内感染対策基本マニュアルの改訂・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は，直接的な主治医とのディスカッション・ TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供）	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 「医薬品の安全管理」 平成26年5月1、2日；講義（両日、同一の内容） 5月8～14日、12月18～24日；上記の映像の視聴 「麻薬の取扱いについて」 平成26年4月2日、5月8日、6月5日、7月8日、8月7日、9月2日、10月1日、11月13日、 12月11日、平成27年1月8日、2月5日、3月4日；講義（全日、同一の内容）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容： 平成27年4月、手順書の一部を改訂。 第5、ならびに第7に注射と与薬を「医療スタッフマニュアル」に則り追記、改正 その他、記載内容一部改正	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none">採用薬剤適正使用情報 (Vol. 45～Vol. 54) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用してメール配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2ヶ月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 20 No. 3 「持参薬を院内の処方に切り替える際の注意」 No. 4 「ケトプロフェン外皮用剤、妊娠後期で禁忌」 No. 5 「メルカゾール投与による無顆粒球症に注意」 No. 6 「ARB又はACE阻害剤は妊婦に禁忌!!」 Vol. 21 No. 1 「アセトアミノフェンの過量投与にご注意ください！」 No. 2 「外観の類似した注射薬～薬剤師アンケートより～」	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年51回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">人工心肺装置・補助循環装置の使用説明人工呼吸器の安全使用説明除細動装置の取扱い閉鎖式保育器の安全使用透析装置の取扱い説明電気メスの取扱い麻酔器の取扱い手術用内視鏡システムの取扱い手術顕微鏡の取扱い手術用ベッドの取扱い超音波手術装置の取扱いシーリングシステムの取扱い光干渉断層法の取扱い（OCT）MR I 対応植込み型デバイスの取扱い気化器の取扱いCO₂レーザーの取扱い自己血回収装置の取扱い植込み型除細動器の取扱い経腸栄養ポンプの取扱い超音波血流計の取扱い	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (○有・無)保守点検の主な内容：医療機器（人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置、麻酔器、眼内内視鏡、歯科ユニット、高気圧酸素、ダヴィンチ）に関して、保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の委員会（医療機器安全管理責任者を含む）にて評価を受ける。 <p>*保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 機器に携わる者への提供に関して、文章告知および院内webサーバーに搭載し、院内に情報提供している。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④有・無
・公益財団法人日本医療機能評価機構：平成26年12月更新認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④有・無
・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。	
・ 広報誌「和」を発行している (年2回程度)。	
・ 診療案内冊子を毎年作成 (更新) し、県内全医療機関へ送付している。また、診療担当医一覧を四半期ごとに作成し、県内全医療機関に送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④有・無
・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。	